

第4章
1 地域包括ケアシステムの構築・強化

施策	第6期計画（平成27年度～29年度）の取組内容	平成27年度取組結果及び28年度取組状況	現段階における評価と今後の取組み
(1) あんしんケアセンターの機能強化	<p>○ 今後の高齢者人口の増加や分布に応じ、平成29年度に6センターを増設して、市内30センター体制とするとともに、基幹型機能を持つあんしんケアセンター設置の検討を行います。</p> <p>また、新たな介護予防・日常生活支援総合事業に取り組むことや地域包括ケアシステムの充実を図ります。</p> <p>○ あんしんケアセンターの人員配置についてより適正化を図るため、計画的に職員を増員します。</p>	<p>あんしんケアセンターの増設については、平成29年度の増設に向け、平成27年度に日常生活圏域の見直しを行いました。28年度は公募説明会を開催し、受託法人を選定します。</p> <p>あんしんケアセンターの人員配置については、平成27年度に6人、平成28年度に1人、包括三職種を増員しました。</p>	<p>計画どおり、高齢者人口の増加に合わせ、あんしんケアセンターの増設、三職種の増員を実施しています。あんしんケアセンターの認知度の向上と、きめ細かな相談対応を継続していることで、相談件数は年々増加しており、引き続き、職員の増員に取り組んでまいります。</p>
(2) 在宅医療・介護連携の推進	<p>○ 訪問診療を行う医師の育成や「（仮称）市認定在宅介護対応薬局」の確保、市立病院による訪問診療医のバックアップ体制を構築するとともに、既に実施している訪問歯科診療事業の拡充も含め、市民が在宅で医療を受けるための基盤整備を行います。</p> <p>また、各種研修や、在宅ケア資源データの共有に加え、市立病院をはじめとする市内病院の医療連携ネットワークの構築なども視野に入れ、医療・介護関係者の連携やスキルアップなどを図ります。</p> <p>さらに、出前講座やシンポジウムの開催、各種媒体の活用により、これらの取組を市民へ周知することで、市民自ら在宅医療・介護について考えることができる機会を創出します。</p> <p>○ 家族介護者が特に困難を感じている介護技術（排泄介助、食事介助方法など）について、介護方法に関する相談を行う「家族介護者支援センター」を設置するとともに、訪問介護事業者などが要介護（要支援）者等宅を訪問し、介護技術の講習を行う「家族に対する介護技術養成事業（訪問レッスン）」を実施します。</p>	<p>地域の医療・介護資源・福祉資源を把握し、将来必要な資源量を推計するため、平成28年度に『在宅医療・介護資源調査』を実施します。</p> <p>医療・介護の多職種向け研修の実施については、平成27年度実績は計画を上回りました。</p> <p>市民に対する講演会としては、平成27年度は「認知症」をテーマとしたシンポジウムを開催しました。平成28年度も引き続き市民向け講演会を開催します。</p> <p>家族介護者支援については、電話相談、訪問レッスンを実施するとともに、平成27年度は研修会を6回開催し、介護者の負担軽減を図りました。</p>	<p>研修、講演会等については、計画通り実施しております。</p> <p>引き続き、在宅医療・介護連携基盤整備については、関係機関と体制づくりに努めます。</p> <p>家族介護者支援については、訪問レッスンの利用が伸び悩んでおり、効果的な周知方法を検討します。</p>
(3) 認知症施策の推進	<p>○ 認知症の進行に伴い生じてくる症状や医療・介護サービスなどの情報をまとめた「標準的な認知症ケアパス」を作成・配布します。また、「認知症サポーター養成講座」、「市政出前講座」の開催や子どもたちへの啓発活動を行う「認知症こども“力”（ちから）プロジェクト」を推進します。</p> <p>○ 認知症の人に対して初期の支援を集中的に行う「認知症初期集中支援チーム」の整備を進めます。</p> <p>○ MC I（軽度認知障害）の人は、65歳以上の約13%と見られていることから、早期発見・ケアに努めるとともに、必要な助言を行います。</p> <p>○ 認知症の人やその家族が安心して過ごせる居場所として「認知症カフェ」の整備を進めます。</p> <p>○ 認知症施策をさらに推進するため、有識者をはじめ、認知症コーディネーター、認知症地域支援推進員など、認知症に関する専門性を有するスタッフとともに必要な施策について、調査・研究します。</p>	<p>認知症の進行に伴い生じてくる症状や医療・介護サービスなどの情報をまとめた「標準的な認知症ケアパス」を平成27年度に作成し、普及のため市民向けに「認知症ケアパス講演会」を開催しました。</p> <p>また、平成27年度は「認知症サポーター養成講座」を201回開催し、また「認知症こども力プロジェクト」として、美浜区、若葉区等の小中学校で「認知症サポーター養成講座」を実施し、認知症に関する知識の普及に努めました。</p> <p>「認知症初期集中支援チーム」については、現在の中央区での活動に加え、平成28年度はチームの増設を予定しています。</p> <p>「認知症カフェ」の整備については、平成27年度から設置や運営などの費用の一部補助を開始したほか、運営者や関心のある方を対象に研修会を開催しました。</p>	<p>ほぼ計画通り実施しております。</p> <p>今後は若い世代や職域を対象に「認知症サポーター」の養成を実施するなど、引き続き認知症の知識の普及・啓発を実施し、認知症への理解の促進を図ってまいります。</p>
(4) 生涯にわたる健康づくりの推進	<p>○ 食生活、身体活動・運動など様々な分野において、市民の健康づくり活動を支援し、生活習慣の改善を図ります。また、市民自らが健康への関心を高め、主体的に健康づくりに取り組めるように、地域・職域関係者と地域の特性にあったネットワークづくりを推進します。</p> <p>○ 保健福祉センターを拠点とした健康教育や健康相談などの保健サービスの充実並びに食育や歯・口腔の健康づくりの推進及び運動習慣の普及・啓発を図ります。また、企業などと連携して就労世代に対する健康づくりを支援することで、生活習慣病の予防に努めるとともに、疾病の早期発見・早期治療のため、がん検診や歯周疾患検診などの受診率の向上や予防接種による疾病予防対策の充実を図ります。</p>	<p>食生活、身体活動・運動など様々な分野において、市民の健康づくり活動を支援し、生活習慣の改善を図るため、講演会や各種教室を開催し、啓発に努めました。</p> <p>また、市民自らが健康への関心を高め、主体的に健康づくりに取り組めるように、地域が中心となって運動を継続する「ヘルスサポーター」養成を推進しております。</p> <p>がん検診等においては、受診可能な種類のがん検診等の受診券を対象者に一括送付するほか、一定年齢を対象とした無料クーポン券の送付や子宮がん・乳がん検診の同時実施など検診を受診しやすい環境づくりに努めました。</p>	<p>ほぼ計画通り実施しました。</p> <p>がん検診の受診率の向上に向け、より広報・普及に努める必要があります。</p>
(5) 生活支援・介護予防サービスの基盤整備の推進	<p>○ 「セルフケアの促進」、「閉じこもりの防止」、「地域で活躍するリーダー的存在の養成」などの視点から、元気なうちから健康づくりに取り組むきっかけとなるような、一般介護予防事業を展開します。</p> <p>○ 住み慣れた地域でいつまでも元気にいきいきと暮らし続けることを目的に「セルフマネジメント」の手法をお知らせし、自ら積極的に取り組めるよう支援します。</p> <p>○ 毎日の生活に生かせる運動、口腔機能向上、栄養改善及び認知症予防などへの取組みを総合的に行う介護予防教室を開催し、セルフケアに取り組むきっかけを提供します。</p> <p>○ 介護予防教室に参加した後、地域のリーダーとしていきいきと活躍できるよう支援します。</p> <p>○ 高齢者の生活支援サービスを推進していくことを目的として、地域における生活支援サービスのコーディネート機能を担う「生活支援コーディネーター」を配置します。</p> <p>○ 介護保険以外の在宅サービスについても、民間の事業者だけではなく、多様な主体によるサービスの参入も視野に入れ、高齢者の在宅生活を支援します。</p> <p>○ 高齢者が特別養護老人ホームなどで行うボランティア活動に対して、ポイントを付与する介護支援ボランティア制度を継続し、高齢者のボランティア活動への参加を支援します。</p> <p>○ これまで、サービスの種類、内容、単価などについて全国一律で提供されてきた予防給付のうち、訪問介護と通所介護は、介護保険法の改正により、市町村が地域の実情に応じて、住民主体など多様な主体による柔軟な取組みにより行われるよう、見直しが図られ、平成29年4月までに新しい介護予防・日常生活支援総合事業に移行することとされています。本市では、平成28年度から、現行の訪問介護と通所介護に相当するサービスは維持しつつ、多様なサービスの担い手となる地域の人材の育成に取り組む生活支援コーディネーターを配置するとともに、リハビリテーション専門職を地域の活動の場へ派遣するなど総合事業として新しいサービスを段階的に開始し、平成29年度に全面的に移行します。</p>	<p>元気なうちから健康づくりに取り組むきっかけづくり、住み慣れた地域でいつまでも元気にいきいきと暮らし続けられるよう「セルフマネジメント」による介護予防への取組み支援の観点から、各種予防事業を実施しました。</p> <p>また、地域の方々に対して介護予防の普及啓発ができる「シニアリーダー」を育成する講座を平成27年度から実施しています。</p> <p>さらに、高齢者の生活支援サービスを推進するため、地域における生活支援サービスのコーディネーター機能を担う「生活支援コーディネーター」を6区に配置し、介護保険以外の在宅サービスについても、多様な主体による提供ができるような基盤づくりを推進しています。</p>	<p>ほぼ計画通りに実施できた事業がほとんどでしたが、見守りや生活支援活動への支援については、目標に大きく届きませんでした。今後、支え合い体制づくりの促進と連携した、取組を検討する必要があります。</p>

千葉県高齢者保健福祉推進計画（介護保険事業計画）における計画事業の取組み及び評価（概要）
【計画期間：平成27年度～29年度】

1 地域包括ケアシステムの構築・強化

施策	第6期計画（平成27年度～29年度）の取組内容	平成27年度取組結果及び28年度取組状況	現段階における評価と今後の取組み
(6) 高齢者の住まいの安定的な確保	<ul style="list-style-type: none"> ○ 身体機能の低下した高齢者が、地域で安心して生活が送れるよう、段差解消、転倒防止（手すり設置）などのバリアフリー構造による住宅の確保及び住宅改修を支援します。 ○ 高齢者にふさわしいハードと安心できる見守りサービスを提供する「サービス付き高齢者向け住宅」の供給を促進します。 	<p>高齢化率の増加に伴って、身体能力の低下した高齢者が地域で安心して生活が送れるよう、バリアフリー構造による住宅の確保及び住宅改修の支援を引き続き実施する。</p> <p>また、「サービス付き高齢者向け住宅」の供給推進については、適切な管理運営が行われるよう、立ち入り検査や定期報告を実施する。</p>	<p>ほぼ計画通りに実施しております。</p> <p>引き続き、今後増加する高齢者の住まいの確保に努めます。</p>
(7) 支え合いの体制づくりの促進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高齢者が住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らし続けることができるよう、「支え合いのまち千葉 推進計画（第3期千葉県地域福祉計画）」に基づき、地域、千葉県社会福祉協議会及び市が連携・協働して、地域で支え合う仕組みづくりを推進します。 ○ 民生委員や地域住民などが支え合う、高齢者の見守りネットワークづくりを支援します。 ○ また、地域支え合い体制づくり事業により地域に整備された支え合いの体制を、引き続き支援します。 ○ 三世同居等支援事業について、「データでみる千葉市の魅力PRチラシ」に掲載するなど、積極的にアピールします。 	<p>「支え合いのまち千葉推進計画（第3期千葉県地域福祉計画）」に基づき、地域、社会福祉協議会、市が連携して、各区支え合いのまち推進協議会において、地域活動の事例紹介や意見交換、推進協だよりの発行等を行い、引き続き計画を推進します。</p> <p>また、地域で支え合う仕組みづくりにおいて、平成27年度から千葉県社会福祉協議会に対して補助している「高齢者生活支援サービス基盤づくり事業」の実施など、地域包括ケアシステムにおける高齢者支援の観点から体制づくりに取り組みます。</p>	<p>ほぼ計画通りに実施しております。</p> <p>引き続き、各区支え合いのまち推進協議会において、事例紹介、意見交換、広報誌発行などを行います。</p> <p>さらに、今後増加する高齢者への見守りや生活支援など、地域で支える体制づくりに努めます。</p>
(8) 安全・安心なまちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害時における要支援者の支援については、それぞれの要支援者の状況に応じた的確な支援が重要であり、防災関係部局や地域の自治会組織、自主防災組織、民生委員などと連携し、安否確認や避難支援の仕組みづくりを推進します。 ○ 高齢者の消費者被害を防止するため、関係機関及び団体が密接に連携するとともに、悪質商法の手口や対処方法などの啓発に努めます。 ○ 高齢者が安心して外出し、積極的に社会に関われるよう、都市施設、公園、公共交通機関などのバリアフリー化を推進するとともに、多様な移動手段の確保と充実にも努めます。 	<p>近年多発している自然災害時において高齢者は災害弱者となるため、防災関係部局や地域の自治会組織、民生委員などと連携し、「避難行動要支援者」の情報共有、支援体制の強化を推進します。</p> <p>また、高齢者の消費者被害を防止について、関係機関と協力して取り組みます。</p>	<p>ほぼ計画通りに実施しております。</p> <p>家具転倒防止対策の利用者の助成件数が、伸び悩んでいるため、増加に向けた検討が必要です。</p>

2 生きがいづくりと社会参加の促進

施策	第6期計画（平成27年度～29年度）の取組内容	平成27年度取組結果及び28年度取組状況	現段階における評価と今後の取組み
(1) 社会参加活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高齢者が積極的に社会参加し、生きがいを持って生活できるよう、活動拠点の実施内容の充実や活動組織の支援を進めるとともに、多様な学習ニーズに対応した学習機会の拡充やボランティア活動を支援します。 ○ 高齢者が住み慣れた地域でいつまでも元気にいきいきと暮らせるよう、これまで高齢者が培ってきた知識・経験・技術やライフスタイルなどにあわせて、学習、スポーツ、レクリエーション、ボランティア活動などを行うことができる場の確保や機会の創出、情報提供に努めます。 ○ 仲間づくりや社会参加を促進するため、老人クラブなどの地域の高齢者の自主的な活動へ支援を行います。 	<p>高齢者が積極的に社会参加し、生きがいを持って生活できるよう、多様な学習ニーズに対応した学習機会やボランティア活動の支援に取り組んでいます。</p>	<p>ほぼ計画通りに実施しております。</p> <p>引き続き、高齢者が積極的に社会参加し、生きがいを持って生活できるよう、多様な学習ニーズに対応した学習機会やボランティア活動の支援に取り組んでまいります。</p>
(2) 高齢者の就労支援	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会参加を促進するため、シルバー人材センターによる高齢者の就労支援の充実を図ります。 ○ また、ワンコインサービスにより買い物支援など暮らしのお手伝いを行うなど、地域貢献活動に積極的に取り組みます。 	<p>引き続き、就業機会の拡大、会員の資質の向上を図りつつ、シルバー人材センターの充実を図っています。</p>	<p>ほぼ計画通りに実施しております。</p> <p>高齢者の増加に合わせ、引き続き会員登録者数の増加に取り組んでまいります。</p>

3 尊厳ある暮らしの支援

施策	第6期計画（平成27年度～29年度）の取組内容	平成27年度取組結果及び28年度取組状況	現段階における評価と今後の取組み
(1) 高齢者虐待への対応	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高齢者虐待について、市民の知識や理解を深めるため、高齢者虐待防止パンフレットを作成・配布するとともに、町内自治会で回覧するなど啓発・広報活動を行います。 ○ 高齢者を虐待から守る活動や、虐待の早期発見・早期対応、再発防止に努めます。 ○ 養介護施設従事者等（施設職員や介護職員）に対しては、その資質の向上を図るため、新任職員や指導的立場にある職員など目的に合わせた研修を実施するほか、施設などに対しては、身体拘束の排除とともに、虐待防止に関する指導・監督を強化します。 ○ 高齢者虐待に関する知識や理解の普及・啓発を引き続き行っていくとともに、地域の関係機関との連携を一層強化するため、高齢者虐待防止連絡会などを引き続き開催します。 ○ 保健福祉センターとあんしんケアセンターなどの関係機関との連携強化や職員の対応力の向上を図るため、個別ケース会議や事例検討会を中心とした研修会を引き続き開催し、関係者間で対応方針や方向性を共有し、一体となって支援に努めます。 ○ 高齢者虐待の発生時には、必要に応じて警察などと連携し対応するほか、被虐待者と虐待者を分離する場合の緊急受け入れ先である施設の居室数の確保に努めます。 	<p>高齢者虐待については、市民の知識や理解を深めるため、パンフレットを作成・配布するなど、普及・啓発に努めています。</p> <p>また、要介護施設従事者等に対し、その資質向上を図るため研修を実施するとともに、高齢者虐待防止の指導・監督を強化しています。</p>	<p>ほぼ計画通りに実施しました。</p> <p>引き続き、高齢者虐待の実態把握に努めてまいります。</p>
(2) 成年後見制度への対応	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高齢者が認知症や介護の必要な状態になっても、生命や財産が守られ尊厳ある暮らしが継続できるよう、成年後見制度などの利用を支援します。 ○ 成年後見支援センターの事業を広く市民に啓発・広報し、成年後見制度や日常生活自立支援事業の利用促進を図るほか、引き続き市民後見人の養成を行うとともに、高齢者の権利擁護のための取組みを支援します。 	<p>高齢者が認知症や介護が必要な状態になっても、尊厳のある暮らしが継続できるよう、成年後見制度の利用支援を行います。</p> <p>また、平成27年度より成年後見人への報酬助成範囲を親族等申立にも拡充しました。</p>	<p>ほぼ計画通りに実施しております。</p> <p>今後、高齢化率の上昇にともない成年後見を必要とする方の増加も見込まれているので、事業継続を図り、必要な支援を行ってまいります。</p>

4 介護基盤の整備

施策	第6期計画（平成27年度～29年度）の取組内容	平成27年度取組結果及び28年度取組状況	現段階における評価と今後の取組み
(1) 介護保険施設等の適正な整備	<p>【居宅系の介護予防サービス】【居住系の介護予防サービス】 介護保険施設等の適正な整備に必要な、国の施策の方向性、利用者のニーズ、各種推計資料などの情報の提供に努めてまいります。</p> <p>【居宅系サービス】 ○居宅系サービスについては、指定居宅サービス事業者など連絡会議などを通じて適切な情報提供を行い、民間事業者の参入を促しサービス提供体制の充実を図ります。</p> <p>【施設・居住系サービス】 ○介護老人福祉施設等の入所希望などの状況を踏まえ、地域的な配置バランスに留意しながら、介護老人福祉施設等、特定施設入居者生活介護等や認知症対応型共同生活介護の充実を図ります。</p>	<p>整備量については、別添のとおりです。 介護老人福祉施設等及び特定施設入居者生活介護等は計画通り選定が進んでおりますが、認知症対応型共同生活介護は応募数の減少により選定が遅れています。 引き続き、介護保険施設等の適正な整備に必要な、国の施策の方向性、利用者のニーズ、各種推計資料などの情報の提供に努めてまいります。</p>	<p>ほぼ計画通りに実施しております。 集団指導や事業者連絡会議などを通じて、引き続き必要な情報提供に努め、計画的な整備を推進します。</p>
(2) 介護人材の確保・定着の促進	<p>○引き続き、関係団体などで構成する協議会において対策を協議・検討するとともに、医療・介護サービス提供体制を推進するために千葉県に設置される基金の活用を検討し、将来を見据えた参入促進・人材育成や介護職員の定着支援のための取組みを推進します。</p>	<p>介護職員初任者研修（旧ホームヘルパー2級研修）受講者に対し、受講費用の助成を行いました。また、小中学生向け介護啓発研修を小学校で実施したほか、市内の介護福祉士養成学校の学生などを対象として、市内介護保険施設などによる合同就職説明会を開催しました。</p>	<p>国の動向や施策を勘案しつつ、将来の要介護者数を見据えた参入促進・人材育成や介護職員の定着のための取組を推進します。</p>

5 介護保険サービスの提供

施策	第6期計画（平成27年度～29年度）の取組内容	平成27年度取組結果及び28年度取組状況	現段階における評価と今後の取組み
(1) 介護保険サービスの提供見込み	<p>ア 被保険者数、要介護認定者数及びサービス利用者数の見込み イ サービス種類ごとの利用者数及びサービス量の見込み ウ 保険給付費及び地域支援事業費の見込み</p>	<p>ア 第1号被保険者（65歳以上）数は、平成27年度で約23万3千人となり、前年度比約8千人の増。また、サービス利用者数は約31,400人で、前年度比約1,800人増となっています。 イ サービス種類ごとに、計画値に対する実績値の割合をしてみると、多くのサービスで80～90%台であり、計画を若干下回る程度となっています。 ウ 保険給付費等の額は約28億円増の約563億円となっています。平成37年度には、現在の約2倍の約1,120億円になると見込まれています。</p>	<p>概ね計画どおりの実績となっています。</p>
(2) 低所得者への配慮	<p>○平成27年4月から、消費税増税分を財源とした公費の投入による低所得者（世帯員全員が市民税非課税の世帯）の保険料の軽減強化が行われる見込みです。 ○本市独自の保険料減免を引き続き実施するほか、施設などにおける居住費・食費の補足給付や社会福祉法人等利用軽減などの利用者負担軽減対策を実施するなど、低所得者に配慮した施策に努めます。</p>	<p>本市独自の保険料減免を引き続き行うほか、平成27年4月から公費を投入し、第1段階の保険料を年額3,090円軽減しています。 また、社会福祉法人等利用軽減などの利用者負担軽減対策を引き続き実施します。</p>	<p>引き続き、低所得者に対する配慮を行います。</p>
(3) 介護給付適正化の推進	<p>○国が示した「第3期介護給付適正化計画に関する指針」を踏まえ、引き続き「要介護認定の適正化」、「ケアプランの点検」、「住宅改修等の点検」、「医療情報との突合・縦覧点検」、「介護給付費通知書」の主要5事業を実施します。また、介護予防に資する効果的なプランとするため、介護支援専門員のスキルアップやケアプランの点検の充実を図ります。 ○介護保険制度の適正な運営とよりよいケアの実施を図るため、介護サービス事業者への実地指導を実施するとともに、不正が疑われる事業者に対しては監査を実施し、必要な措置を講じます。</p>	<p>調査員研修、審査会部会長会議などを実施し、要介護認定の適正化を図っています。また、住宅改修について、事前事後の現地調査を抽出して行ったほか、医療情報との突合・縦覧点検や介護給付費通知書の発送を実施しました。 平成27年度は168の事業所に対して実地指導を行い、給付の適正化に努めました。</p>	<p>引き続き、公平な要介護認定の実施、適正な介護サービスの提供に努めます。</p>

千葉県高齢者保健福祉推進計画（介護保険事業計画）における
 主な計画事業の取組および進捗・達成状況について
 【計画期間：平成27年度～29年度】

進捗度について
 ☆ 数値目標を達成・もしくは上回っている。（数値目標に対する達成率：100%以上）
 ○ 数値目標を概ね達成している。（数値目標に対する達成率：90%～100%未満）
 △ 数値目標を下回っている。（数値目標に対する達成率：50%～90%未満）
 ◆ 数値目標を大幅に下回っている。（数値目標に対する達成率：50%未満）

資料2・別紙

第4章
 1 地域包括ケアシステムの構築・強化

(1) あんしんケアセンターの機能強化

NO	事業名	事業内容	担当課	6期計画 での位置 づけ	数値目標・単位		6期計画（27～29年度）					6期計画（27～29年度） 取組に対する評価	
							27年度		28年度		29年度		
							数値目標	実績	取組結果	数値目標	取組状況		数値目標
1	あんしんケアセンター職員の増員	ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯、認知症高齢者の増加などにより、地域包括ケアシステムの中心となるあんしんケアセンターに求められる役割も増大しています。地域の中で、きめ細かく相談などに応じることができるよう、必要な職員の増員を行います。	地域包括ケア推進課	4章1-(1) P32	包括三職種人数	人	108	108	包括三職種を102人から108人に増員したことで、きめ細かく相談に応じることができ、相談件数39,178件と前年比16.5%増加した。	109	包括三職種を108人から109人に増員した。	138	計画どおり、高齢者人口の増加に合わせ、包括三職種の増員を実施している。あんしんケアセンターの認知度の向上と、きめ細かな相談対応を継続していることで、相談件数は年々増加している。引き続き、職員の増員に取り組んでいく。
2	あんしんケアセンターの増設	地域包括ケアシステムを効果的に推進するため、高齢者人口の伸びなどにより日常生活圏域を見直し、平成29年度にあんしんケアセンターを6か所増設するとともに、行政並びにあんしんケアセンター間の相互調整などを行う基幹型機能を持つあんしんケア設置の検討を行います。	地域包括ケア推進課	4章1-(1) P32	あんしんケアセンター設置数	か所	24	24	平成29年度の増設に向けて、日常生活圏域の見直しを行った。	24	平成29年度の増設に向けて、公募説明会を開催し、受託法人を選定する。	30	計画どおり、平成29年度にあんしんケアセンター設置数24か所から平成29年度30か所（出張所2か所含む）への増設を予定している。平成27年度に日常生活圏域の見直しを実施し、平成28年度に受託法人の募集・選定を実施している。

(2) 在宅医療・介護連携の推進

NO	事業名	事業内容	担当課	6期計画 での位置 づけ	数値目標・単位		6期計画（27～29年度）					6期計画（27～29年度） 取組に対する評価	
							27年度		28年度		29年度		
							数値目標	実績	取組結果	数値目標	取組状況		数値目標
1	地域の医療・介護・福祉資源の把握及び活用	市内の在宅医療・介護・福祉に係る施設を調査し、情報の把握と共有化を図るとともに、その活用に努めます。	地域包括ケア推進課健康企画課	4章1-(2) P36	設定不可			市内の病院及び一般診療所に対し、在宅医療に係るアンケート調査を実施し、在宅医療を実施する医療機関の把握に努めた。		在宅医療・介護資源調査を実施し、市内の在宅医療・介護の実態を把握すると共に、将来必要な資源量の推計を実施する。		計画どおり実施している。在宅医療介護に係る関係者へのヒアリングを実施するとともに、平成28年度には、市内の在宅医療・介護に係る資源の実態を把握し、将来必要な資源数の推計を実施する。	
2	地域ケア会議の推進	地域の医療・介護・福祉・生活支援などの関係者で構成される地域ケア会議を開催し、個別事例の支援方法を検討するとともに、事例の積み重ねから見えてくる地域特有の課題を共有し、行政への提言を行います。	地域包括ケア推進課	4章1-(2) P36	多職種連携会議の開催数（在宅医療推進事業委託）	回	12	12	顔の見える関係づくりを目的とし医療・介護関係者が一堂に介した多職種連携会議を各区で開催した。	12	引き続き、各区で多職種連携会議を開催すると共に、会議開催への支援として多職種連携会議幹事に対する研修会の実施や、日常生活圏域ごとの多職種連携会議について実施可能な区から開催を推進する。	12	全区で多職種連携会議を開催することは目標達成している。今後は、日常生活圏域ごとの多職種連携会議開催に向けた支援を検討するほか、効率的に地域課題を抽出できるよう、多様な会議体を有機的に結び付けるための手法等を検討していく。
3	在宅医療・介護連携に関する研修の実施	病院勤務の医療職に対する認知症対応力向上研修や、介護職への医療に関する研修などを実施し、各職種のスキルアップを図るとともに、研修参加者間の連携を強化します。	地域包括ケア推進課健康企画課	4章1-(2) P36	研修回数	回	6	17	「在宅医療介護に係る関係者間における情報共有」をテーマに千葉市在宅医療推進連絡協議会講演会を年1回開催した。また、「自立支援」をテーマにケアマネジャー及びりハビリ職の合同研修会を開催した。	12	病院勤務の医療従事者等に対する認知症対応力向上研修を実施する他、引き続き各職種のスキルアップ及び連携を強化するための研修を実施する。	18	病院勤務の医療従事者に対する認知症対応力向上研修事業を平成28年度から開始した。また、あんしんケアセンター職員への医療に関する研修を実施するなど、計画を着実に推進している。引き続き、関係者へのヒアリングを実施しながら、より効果の高い研修となるよう、開催手法の検討や開催支援を行っていく。
4	24時間365日の在宅医療・介護体制の構築	訪問診療を行う医師の育成や、既の実施している訪問歯科診療事業の拡充も含め、「（仮称）市認定在宅介護対応薬局」の認定などを行うことで、24時間365日の在宅医療・介護体制の構築を目指します。また、医療・介護などの関係団体が参加する「千葉市在宅医療推進連絡協議会」において、多職種間の連携を引き続き推進します。	地域包括ケア推進課健康企画課	4章1-(2) P36	設定不可			千葉市在宅医療推進連絡協議会を年2回開催し、在宅医療介護連携推進の課題に対し意見交換を実施した。また、市医師会へ委託し訪問診療医師増強研修事業を実施した。		在宅医療介護対応薬剤師認定事業を開始する他、多職種連携会議等で在宅療養関係者に対し訪問歯科診療事業の周知に努める。また、引き続き千葉市在宅医療推進連絡協議会の開催及び訪問診療医師増強研修事業を実施する。		在宅医療・介護体制の構築に向け、平成27年度は市医師会の協力の下、訪問診療医師増強研修事業を、平成28年度は市薬剤師会の協力の下、在宅医療介護対応薬剤師認定事業を開始し、計画を着実に推進している。今後、「千葉市在宅医療推進連絡協議会」等を始めとする多職種が一堂に会する会議等で、これらの事業の評価を行うとともに、多職種間の連携に係る課題を把握し、連携推進を図るための支援を検討していく。	

千葉市高齢者保健福祉推進計画（介護保険事業計画）における
 主な計画事業の取組および進捗・達成状況について
 【計画期間：平成27年度～29年度】

進捗度について

- ☆ 数値目標を達成・もしくは上回っている。（数値目標に対する達成率：100%以上）
- 数値目標を概ね達成している。（数値目標に対する達成率：90%～100%未満）
- △ 数値目標を下回っている。（数値目標に対する達成率：50%～90%未満）
- ◆ 数値目標を大幅に下回っている。（数値目標に対する達成率：50%未満）

資料2・別紙

NO	事業名	事業内容	担当課	6期計画 での位置 づけ	数値目標・単位	6期計画（27～29年度）					取組に対する評価	
						27年度		28年度		29年度		
						数値目標	実績	取組結果	数値目標	取組状況		数値目標
5	在宅医療の充実	市立青葉病院は、平成9年から在宅医療支援病床を医師会と協力して運営しており、また、平成26年度より在宅療養後方支援病院として在宅医療を提供する医療機関（連携医療機関）と連携し、地域で在宅療養する患者の緊急入院を24時間受け入れるための体制を整備しています。また、平成27年度から市立海浜病院についても、在宅療養後方支援病院として体制の整備を図ることから、引き続き連携強化に努めます。	病院局 経営企画課	4章1- (2) P37	設定不可			【市立青葉病院】 登録医療機関（訪問診療医） 23機関 登録患者 101名 【市立海浜病院】 登録医療機関（訪問診療医） 8機関 登録患者 21名		両市立病院において、在宅療養後方支援病院の運営を引き続き実施する。		平成27年度には、市立青葉病院だけではなく、市立海浜病院においても在宅療養後方支援病院の施設基準を取得し、地域で在宅療養する患者の緊急入院を24時間受け入れるための体制を整備した。
						達成率	#DIV/0!					
						進捗度						
6	在宅医療・介護連携支援センター（仮称）の運営	地域の在宅医療・介護関係者及びあんしんケアセンターに対して、在宅医療・介護連携に関する情報提供を行うなど、総合的な支援を行います。	地域包括ケア推進課 健康企画課	4章1- (2) P37	設定不可			-		（仮称）在宅医療・介護連携支援室の設置に向け、役割や機能、運営方法等について、千葉市在宅医療推進連絡協議会を含めた関係者へのヒアリングや意見交換を実施する。		平成30年4月までに設置が求められている在宅医療・介護連携支援センター（仮称）について、その役割や機能、運営方法等を検討していく必要があり、今後、千葉市在宅医療推進連絡協議会を中心に議論を進めていく。
						達成率	#DIV/0!					
						進捗度						
7	在宅医療・介護シンポジウムの開催	在宅医療・介護の連携に関する取組を紹介するほか、シンポジウムなどを開催することで、在宅医療・介護に対する市民の理解が深まるよう努めます。	地域包括ケア推進課 健康企画課	4章1- (2) P37	開催回数 回	1	1	市民が自助・互助・共助について考えるきっかけづくりとして、「認知症」をテーマに、市民講演会を開催した。	1	終末期を含めたライフスタイルについて、住民が考えるきっかけとなる講演会を開催する。	1	計画どおり実施している。平成27年9月6日に市文化センターにて市民講演会を開催し、245名の方に参加いただいた。他の事業・団体が実施する講演会と日程やテーマが重複しないよう、調整・検討していく。また、会場の場所や広さ等に限りがあるため、機会を捉えて、在宅医療・介護に関する取組を伝える場を設けたり、一つのテーマについて小さな地域ごとに開催するなど、開催方法や周知手段を工夫していく。
						達成率	100.0%					
						進捗度	☆					
8	訪問診療を行う医師の育成	積極的に訪問診療を行っている医師が指導役となり、未経験の医師に対し同行実地研修を実施し、必要な知識やスキルを習得することにより、訪問診療を行う医師の増員を図ります。	地域包括ケア推進課 健康企画課	4章1- (2) P37	研修を受けた医師の数 （同行実地研修） 人	5	20	訪問診療の実施に必要な事務手続きや器具・衛生材料等を修得するキックオフ研修を実施後、訪問診療にベテランの医師と未経験の医師がペアとなり訪問診療へ同行する研修を、市医師会へ委託し実施した。	10	引き続き、訪問診療を行う医師の増強を図るため、市医師会へ委託し、訪問診療医師増強研修を実施する。	20	計画どおり実施している。より多くの医師に参加いただき、同行実地研修を効果的に実施できるよう、今後、市医師会の協力も得ながら、その開催手法等について検討していく。
						達成率	400.0%					
						進捗度	☆					
9	関係者間をつなぐクラウド型システムの導入	患者の基本情報、医師やケアマネジャーなどの診療・訪問履歴及び身体状況などについて、個人情報取扱に十分に配慮しながらクラウドコンプライアンスの技術を活用し、関係者が共有できるシステムを導入します。導入に当たっては、平成28年度から医療や介護などの関係者と検討を開始し、平成30年度以降の実施を目指します。	地域包括ケア推進課 健康企画課	4章1- (2) P37	設定不可			千葉市在宅医療推進連絡協議会等への意見聴取や、各関係職種に対するヒアリングを実施した。		引き続き、千葉市在宅医療推進連絡協議会等への意見聴取や、各関係職種に対するヒアリングを実施し、導入に対する検討を行う。		計画どおり実施している。クラウド型システムの導入にあたっては、その使い勝手や費用対効果など、様々な検討課題があり、引き続き、千葉市在宅医療推進連絡協議会等への意見聴取や、各関係職種に対するヒアリングを実施し、導入に対する検討を行う。
						達成率	#DIV/0!					
						進捗度						
10	介護予防ケアプランの充実	要支援者の自立支援を推進するため、あんしんケアセンターにおいて新規に作成している介護予防ケアプランの点検を行い、介護予防ケアプランの充実を図ります。また、介護支援専門員が、より適切な介護予防ケアプランを作成できるよう、スキルアップ研修を実施します。	地域包括ケア推進課 介護保険課	4章1- (2) P38	設定不可			あんしんケアセンター職員を対象に、総合事業と介護予防ケアマネジメントについての研修会を2回実施。137名参加。		介護予防ケアマネジメントの手引きを作成し、手引きに沿った介護予防ケアマネジメント研修を実施する。		計画を着実に実施しているが、平成29年度の総合事業移行に併せて、自立支援に向けたケアマネジメントの充実に向けた体制を整えることが課題となっている。総合事業移行は、受付や相談の流れにも影響するため、平成28年度は、総合事業への対応に向けて相談フローなども含めたケアマネジメントの手引き作成と手引きの内容に沿ったケアマネジメント研修を実施する予定である。
						達成率	#DIV/0!					
						進捗度						
11	家族介護者支援	在宅で高齢者を介護している家族や支援者を対象に各区1回、家族介護者研修を実施します。家族介護者が特に困難を感じている介護技術（排泄介助、食事介助方法など）について、訪問介護事業所などが要介護（要支援）者等宅を訪問し、介護技術の講習を行う「家族に対する介護技術養成事業（訪問レッスン）」を実施するとともに家族介護者の介護方法に関する相談を行う家族介護者支援センターを設置し、家族介護者の身体的・精神的負担の軽減や介護者（養護者）の介護技術の向上を図ります。	高齢福祉課	4章1- (2) P38	講習実施 世帯 世帯	300	37	家族介護者支援センターを設置（委託先：千葉県ホームヘルパー協議会）し、家族介護者向けの電話相談（相談件数 96件）や訪問レッスンを実施するとともに、家族介護者研修を6回開催（受講者数 29人）し、介護者の負担軽減を図った。	300	在宅で高齢者を介護している家族の相談窓口である家族介護者支援センターを設置（委託先：千葉県ホームヘルパー協議会）し、電話相談及び訪問レッスンを実施するとともに、家族介護研修を年6回開催する。	300	在宅で高齢者を介護している家族の相談窓口として家族介護者支援センターを設置し、訪問レッスンを実施したことで、家族介護者への支援を強化できた。しかし、訪問レッスンの利用件数が伸び悩んでいるため、効果的な周知方法を検討する。
						達成率	12.3%					
						進捗度	◆					
13	地域の保健・医療・福祉関連連携の強化	あんしんケアセンターと市内医療機関との研修会や、千葉市訪問看護ステーション協議会、ケアマネジャー及び市内医療機関との研修会を開催し、連携強化を図ります。	病院局 経営企画課	4章1- (2) P38	設定不可			【市立青葉病院】 ・市内の医療機関との公開カンファレンス等を実施 6回 ・市内の介護事業者等との研修会等 13回 【市立海浜病院】 ・市内の医療機関との公開カンファレンス等を実施 5回 ・市内の介護事業者等との研修会等 7回		市内の医療機関との公開カンファレンスや、介護事業者等との研修会・勉強会を開催する。		市内の医療機関との研修会の開催については、両市立病院ともに公開カンファレンス等を実施できた。また、介護事業者との研修会の開催については、両市立病院では、地域において開催された「地域医療連携」に関する会合に参加するなど、連携強化に向けて取り組んだ。
						達成率	#DIV/0!					
						進捗度						

千葉県高齢者保健福祉推進計画（介護保険事業計画）における
 主な計画事業の取組および進捗・達成状況について
 【計画期間：平成27年度～29年度】

進捗度について

- ☆ 数値目標を達成・もしくは上回っている。（数値目標に対する達成率：100%以上）
- 数値目標を概ね達成している。（数値目標に対する達成率：90%～100%未満）
- △ 数値目標を下回っている。（数値目標に対する達成率：50%～90%未満）
- ◆ 数値目標を大幅に下回っている。（数値目標に対する達成率：50%未満）

資料2・別紙

(3) 認知症施策の推進

NO	事業名	事業内容	担当課	6期計画 での位置 づけ	数値目標・単位		6期計画（27～29年度）							
							27年度			28年度			29年度	取組に対する評価
							数値目標	実績	取組結果	数値目標	取組状況	数値目標		
1	認知症初期集中 支援チームの設 置・運営	訪問看護師や作業療法士などの専門スタッフが、認知症と疑われる人、認知症の人及びその家族の自宅を訪問し、認知症の進行による症状についての説明、本人に対する価値観の聞き取り及び生活環境に応じた助言などを行い、自立生活を支援します。	地域包括ケ ア推進課	4章1- (3) P41	設置数	か所	1	1	中央区にて認知症の方または認知症と疑われる方の自宅を訪問し、初期集中支援を実施した（対象10人、訪問回数述べ85回）	2	1チーム増設し、他区での活動を開始する。	2	計画どおり実施している。チームが活動していない区のアんしんケアセンターから、訪問依頼があがっていることから、今後、チームを増設し、早期に市内全域で活動できる体制を構築していく必要がある。また、チーム員がスムーズに活動できるよう、対応方法に関するマニュアルの整備にも取り組んでいく。	
							達成率	100.0%						
							進捗度	☆						
2	千葉県認知症疾 患医療センター の機能強化	認知症の人やその家族、かかりつけ医などから相談を受け、症状に対する助言や地域のサポート医の紹介、必要に応じて認知症の原因疾患を特定する鑑別診断などを行います。 また、あんしんケアセンターやケアマネジャーに対し認知症の対応力向上のための研修などを行っています。このような機能を強化するため、相談員の増員を行います。	地域包括ケ ア推進課	4章1- (3) P41	設置数	か所	1	1	認知症に関する専門医療相談（電話相談、面接相談等）の件数は増加しており、相談員を増員して対応している。 また、認知症疾患医療連携協議会を開催し、医療機関やあんしんケアセンターなどの関係機関との連携を図った。	1	引き続き認知症に関する専門医療相談、鑑別診断等を行い、地域の医療機関やあんしんケアセンター、認知症初期集中支援チーム等の関係機関との連携を図る。	1	計画どおり実施している。引き続き、市民への周知や関係機関との連携強化を図っていく必要があるが、専門医療相談、鑑別診断の件数は増加しており、相談員の増員等で対応している。	
							達成率	100.0%						
							進捗度	☆						
3	認知症こども “力”（ちか ら）プロジェク トの推進	小・中学校、高等学校などで「認知症サポーター養成講座」を開催します。 また、多世代交流イベントなどにおいて、子どもたちへの認知症に関する啓発活動を推進することで、認知症の人にやさしいまちづくり、認知症に対する偏見の払拭及び未来の介護人材の育成を図ります。	地域包括ケ ア推進課	4章1- (3) P41	設定不可				美浜区、若葉区等の小・中学校で「認知症サポーター養成講座」を実施した。 小・中学生を対象とした「認知症キッズワークショップ」を開催し、子ども向けの認知症パンフレットを作成した。		引き続き市内の小・中学校で「認知症サポーター養成講座」を実施する。 小・中学校の「教職員のための認知症ワークショップ」を開催し、子どもたちへの効果的な教育方法について検討する。		計画どおり実施している。今後、全ての区で小・中学生対象の認知症サポーター養成講座を開催できるよう、取組みを継続していくとともに、子どもたちへの認知症に関する効果的な啓発活動を検討していく。	
							達成率	#DIV/0!						
							進捗度							
4	MCI（軽度認知 障害）の早期発 見とケア	軽度認知障害の人は、そのまま認知症に移行する場合のほか、認知症を発症しない場合もあるとされていることから、早期発見に必要な簡易判定機材の導入や適切なケアについて調査・研究を行います。	地域包括ケ ア推進課	4章1- (3) P42	設定不可				判定検査機器をイベント時に導入し、機器導入方法やケア等の課題を検討した。		先進的に導入している市への情報収集等を行い、さらに検討をしていく。また、医療機関、認知症疾患医療センター、初期集中支援チーム、あんしんケアセンター等の連携の取り方等について検討していく。		簡易判定機材の導入については、費用対効果の問題や判定後の適切なケアのあり方など、様々な課題があることから、より効果的な導入手法について、検討を進めていく。	
							達成率	#DIV/0!						
							進捗度							
5	標準的な認知症 ケアパスの作 成・普及	認知症の進行に伴い生じてくる症状や医療・介護サービスなどの情報をまとめた「標準的な認知症ケアパス」を作成・配布します。	地域包括ケ ア推進課	4章1- (3) P42	設定不可				千葉県認知症ケアパスを作成し、普及のため市民向けに「認知症ケアパス講演会」を開催した。		より分かりやすく、使いやすい認知症ケアパスへ改訂し、「認知症ケアパス講演会」の開催を通して普及に努めていく。		計画どおり実施している。他の原因疾患や若年性認知症に関する記述を加えるなど、より充実した内容となるよう、引き続き検討していく。	
							達成率	#DIV/0!						
							進捗度							
14	認知症コーディネ ーターの養成	認知症の人を地域で総合的に支援する「認知症コーディネーター」を養成し、千葉県認知症疾患医療センター及びあんしんケアセンターに配置します。	地域包括ケ ア推進課	4章1- (3) P43	配置数	か所	25	22	認知症コーディネーターを4人、認知症地域支援推進員を15人養成し、配置数が22カ所へ増加した。	25	認知症コーディネーター及び認知症地域支援推進員を養成し、すべてのあんしんケアセンターへの配置を目指す。	30	ほぼ計画どおり実施している。引き続き養成者数を増やし、すべてのあんしんケアセンターへの配置を目指す。また、認知症地域支援推進員とともに、認知症に関する様々な施策において、その能力を発揮し、活躍できるよう、企画・立案や実践の場を創出していく。	
							達成率	88.0%						
							進捗度	△						
15	認知症カフェの 整備	認知症の人とその家族、地域住民及び専門スタッフが集い、認知症の人を支える繋がりを支援し、家族の介護負担の軽減などを図るため、認知症カフェの開設を支援します。	地域包括ケ ア推進課	4章1- (3) P43	設置数	か所	2	5	認知症カフェに関するニーズ等を聞き取り、その結果と考慮して、認知症カフェの設置や運営などの費用の一部補助を行った。 また、認知症カフェ運営者や関心のある方を対象の研修会の開催を支援した。	2	引き続き、認知症カフェの設置や運営などの費用の一部補助を行う。また、認知症カフェ運営者や関心のある方を対象の交流会の開催を支援していく。 認知症カフェの情報をPRしていく。	2	計画どおり実施している。認知症カフェの設置を促進するとともに、継続して運営できるよう、支援を行っていくことが課題であり、費用補助のあり方や運営者間での情報交換等について、引き続き検討を進めていく。また、認知症カフェの情報をPRし、その活動を広く周知するとともに、利用したい方が身近な地域で気軽に参加できるような体制を構築していく。	
							達成率	250.0%						
							進捗度	☆						

千葉県高齢者保健福祉推進計画（介護保険事業計画）における
 主な計画事業の取組および進捗・達成状況について
 【計画期間：平成27年度～29年度】

進捗度について
 ☆ 数値目標を達成・もしくは上回っている。（数値目標に対する達成率：100%以上）
 ○ 数値目標を概ね達成している。（数値目標に対する達成率：90%～100%未満）
 △ 数値目標を下回っている。（数値目標に対する達成率：50%～90%未満）
 ◆ 数値目標を大幅に下回っている。（数値目標に対する達成率：50%未満）

資料2・別紙

(4) 生涯にわたる健康づくりの推進

NO	事業名	事業内容	担当課	6期計画 での位置 づけ	数値目標・単位		6期計画（27～29年度）							
							27年度			28年度			29年度	取組に対する評価
							数値目標	実績	取組結果	数値目標	取組状況	数値目標		
1	食生活改善の推進	地域において食生活改善のためのボランティア活動を行う食生活改善推進員を育成し、健全な食生活の実現を支援します。	健康支援課	4章1-(4) P46	食生活改善推進員数	人	330	295	花見川区健康課を会場に食生活改善推進員養成講座を開催し、食生活改善推進員の増加に努めた。	330	稲毛区健康課を会場に食生活改善推進員養成講座を開催し、食生活改善推進員の増加に努める。	330	第2次千葉県市食育推進計画の数値目標である330人を目指し、推進員の養成・育成に取り組む。	
							達成率	89.4%						
							進捗度	△						
3	地域健康づくり支援ネットワークの推進	各区での健康づくりの課題に応じた事業を推進するため、「地域健康づくり支援連絡会」などのネットワークを活用し、健康づくりの推進に努めます。	健康支援課	4章1-(4) P46	地域健康づくり支援連絡会実施回数	回	12	12	各区2回、地域健康づくり支援連絡会を開催し、健康づくりのための地域資源等について情報交換を行った。	12	地域健康づくり支援連絡会を各区2回実施する予定。	12	ネットワークの強化に努め、地域の健康問題の解決を図る。また地域の民間事業等にもネットワークを広げていけるよう検討し、情報の収集や発信を広げる。	
							達成率	100.0%						
							進捗度	☆						
4	ヘルスサポーターの養成	健康づくりのため、運動に関する正しい知識に基づく市民の自主的な活動を推進することを目的として、地域の中心となって運動を継続するヘルスサポーター（健康づくり支援者）を養成します。	健康支援課	4章1-(4) P46	実施回数	回	75	68	中央区で8回、中央区以外の5区で各区12回実施し、291人のヘルスサポーターを養成した。	78	実施回数を各区1コース4回を年間2コースに見直したため、年間48回の実施となる予定。各区でフォローアップ教室を実施する予定。	81	引き続き、地域の中心となって健康づくりを実践するヘルスサポーターを養成する。また、推進する類似の健康づくり事業との事業整理も検討しながら、今後も健康づくり事業を推進する。	
							達成率	90.7%						
							進捗度	○						
7	歯・口腔の健康づくりの推進	歯科健康教育・相談、ヘルシーカムカムなどのイベントを開催し、歯・口腔の健康づくりに関する正しい知識の普及・啓発を行うことで、むし歯、歯周病予防及び口腔機能（摂食・嚥下など）の向上に努めます。	健康支援課	4章1-(4) P47	設定不可				イベント事業はさまざまな年代を対象とした事業内容を実施しているが、特に口腔機能低下防止の体操の普及啓発を27年度おこなった。参加者8,587人		各事業ごとに参加者の増加を図るための周知方法の検討を行う。幅広い対象者に多角的な内容で知識の普及を目指し「8020運動」の推進を図る。		口腔機能向上のための体操の啓発・知識普及のコーナーをヘルシーカムカムに設置し、発展させた。介護予防教育の中でも、歯科疾患の予防だけでなく、口腔機能向上についての知識の普及や啓発に努めている。教育については、保健福祉センター会場以外での開催に努めているが、今後も新たな地域での展開を計画する。	
							達成率	#DIV/0!						
							進捗度							
8	がん検診等の推進	がんなどの早期発見・早期治療を図るため、がん検診、歯周疾患検診、骨粗しょう症検診などを実施します。	健康支援課	4章1-(4) P47	受診率	%	50	27.8	市民ニーズの高い検診時の子どもの見守りについては、各区保健福祉センターにおいて実施（25回）するほか、子宮がん・乳がん・大腸がん検診の無料クーポン券を一定の年齢に送付した。また、前年度に引き続き乳がん・子宮がん検診の同時開催（13回）や夜間検診（2回）、スーパー等での検診（1回）を実施し、受診率向上を図った。	50	集団検診において、胃・大腸・肺がん・骨粗しょう症検診の同時実施を保健所会場で1回実施する。また、昨年度に引き続き子どもの見守り、一定年齢への子宮・乳・大腸がん検診無料クーポン券の送付、子宮・乳がん検診の同時実施、夜間検診、土曜の検診、商業施設での検診を実施し、受診率向上を図る。	50	受診可能な種類のがん検診等の受診券を対象者に一括送付するほか、第5期に引き続き乳がん・子宮がんの同時開催や夜間検診、検診時の子供の見守り等実施、スーパー等人の集まる会場での検診実施など、検診を受診しやすい環境づくりを進めている。また、子宮がん・乳がん・大腸がん検診の無料クーポン券を一定の年齢に送付し受診率向上に努めていることから、受診者は増加しているが、国が示す一次検診受診率50%及び精密検査受診率70%には到達しないため、今後より広報・啓発に努める必要がある。	
							達成率	55.6%						
							進捗度	△						
9	健康診査等の推進	国民健康保険及び後期高齢者医療制度の加入者に対して、生活習慣病の予防・早期発見と健康の保持・増進を目的とした特定健康診査又は健康診査を実施します。また、特定健康診査で生活習慣病のリスクがあると判定された方に特定保健指導を実施します。	健康保険課	4章1-(4) P47	受診率	%	41.0%	35.7%	従来のはがきやポスターなどによる受診勧奨に加え、未受診者への電話勧奨（56,588人）や過去5年間の受診者への健診結果の経年推移通知（78,388人）などを実施した。	43.0%	受診勧奨への取組において、対象者の過去の受診状況に応じてはがきの内容を変えるなどの工夫により受診率向上を図る。	45.0%	数値目標は平成24年度に策定した「千葉県国民健康保険特定健康診査等実施計画」によるもので、既に目標と実績の差が大きく、29年度の目標達成は厳しい状況である。新たな受診勧奨の手法も検討しつつ、堅実な受診率向上を図る。	
							達成率	87.1%						
							進捗度	△						
							設定不可							
							達成率	#DIV/0!						
							進捗度							
10	健康教育	健康に関する正しい知識の普及を図るため、講演会などの集団健康教育を行うほか、禁煙に関する個別健康教育を実施します。また、様々な機会を捉えて、COPD（慢性閉塞性肺疾患）の普及・啓発に努めます。	健康支援課	4章1-(4) P47	集団健康教育参加延べ人数	人	9,592	13,316	各区で糖尿病教室を行い、糖尿病の発症予防、重症化予防に取り組んだ。COPDの普及啓発のために各区で講演会を実施の他、様々な機会を捉えてリーフレットを配付した。また地区特性を考慮した各種教室を開催し、知識の普及啓発、生活習慣改善のための支援を行なった。	12,000	健康に関する正しい知識の普及を図るため、講演会などの集団健康教育を行うほか、禁煙に関する個別健康教育を実施する。また、様々な機会を捉えて、COPD（慢性閉塞性肺疾患）の普及・啓発に努める。	12,000	個別健康教育は喫煙1領域のみ実施。生活習慣病予防対策としての糖尿病教室とサークル、COPD認知度向上のための講演会は、全区健康課で実施し、一定の成果が得られている。また、各区地区特性を考慮して各種教室や講演会のテーマを設定し、地区住民への知識の普及啓発を図れた。	
							達成率	138.8%						
							進捗度	☆						

千葉県高齢者保健福祉推進計画（介護保険事業計画）における
 主な計画事業の取組および進捗・達成状況について
 【計画期間：平成27年度～29年度】

進捗度について

- ☆ 数値目標を達成・もしくは上回っている。（数値目標に対する達成率：100%以上）
- 数値目標を概ね達成している。（数値目標に対する達成率：90%～100%未満）
- △ 数値目標を下回っている。（数値目標に対する達成率：50%～90%未満）
- ◆ 数値目標を大幅に下回っている。（数値目標に対する達成率：50%未満）

資料2・別紙

(5) 生活支援・介護予防サービスの基盤整備の推進

NO	事業名	事業内容	担当課	6期計画 での位置 づけ	数値目標・単位		6期計画（27～29年度）						取組に対する評価	
							27年度			28年度				29年度
							数値目標	実績	取組結果	数値目標	取組状況	数値目標		
7	チャレンジシニア教室	一般高齢者を対象に、介護予防の視点を取り入れた実習・趣味活動・講座など、特に閉じこもりがちな男性高齢者の興味を引くような多彩なプログラムを行います。	地域包括ケア推進課	4章1-(5) P52	実施回数	回	140	140	総合型介護予防事業として円滑に実施できる事業者に業務を委託し、1コース12回を各区年2コース実施した。	144	総合型介護予防事業として円滑に事業を実施できる事業者に委託し、1コース12回を各区年2コース実施する。	144	計画どおり実施している。平成29年度より、介護予防・日常生活支援総合事業の一般介護予防事業の介護予防普及啓発事業（介護予防教室）に位置づけて実施する予定である。	
							達成率	100.0%		達成率				
							進捗度	☆		進捗度				
8	シニア水中プログラム (平成27年度で終了)	水中での運動により慢性的な関節疾患の痛みの軽減を図ります。また、脳活性のエクササイズや、認知症発症リスクを抑える生活習慣を獲得するための講話を実施することで、認知症の予防を図ります。	地域包括ケア推進課	4章1-(5) P52	実施回数	回	120	120	スポーツクラブに委託し、1コース12回を各区年2回実施した。	-	制度見直しにより「シニアフィットネス習慣普及事業」に変更	-	平成27年度は計画どおり実施している。募集定員200人に対し、応募が879人あり、参加できない方が非常に多くなった。平成28年度からは、より多くの高齢者の方に、フィットネスクラブでの運動を実施してもらえるよう制度設計を変更とすることとし、フィットネスクラブに通う高齢者への補助事業「シニアフィットネス習慣普及事業」として実施している。	
							達成率	100.0%		達成率				
							進捗度	☆		進捗度				
平成28年度より変更 シニアフィットネス習慣普及事業	市内フィットネスクラブに高齢者向けの運動メニューを提供いただきその利用の一部を市が助成することで、介護予防に資する運動習慣の普及啓発を図ります。	地域包括ケア推進課	参加人数	人	-	-	-	1200	高齢者がフィットネスクラブに通う料金の一部を補助する。	1,200				
					達成率	#VALUE!		達成率						
					進捗度			進捗度						
9	リハビリテーション活動支援	介護予防の機能強化（自立支援に資する取組）を図るため、住民主体の通いの場などにおいて、リハビリテーション専門職などによる指導・助言を行います。	地域包括ケア推進課	4章1-(5) P52	実施回数	回	-	-	次年度開始に向けて、他市の情報収集やリハビリ職団体との調整等の準備を行った。	50	住民主体の通いの場等の現状等を把握し、年度後半よりリハビリ職による支援を行っていく。	100	より効果的な介護予防の取組みを実践するため、リハビリテーション専門職の幅広い関わりが重要になっている。そのため、あらゆる住民主体の活動の場へリハビリテーション専門職を派遣し、支援を行うことができるよう、関係団体と引き続き調整を進めていく。 また、あんしんケアセンター等での個別のケースの処遇等に対しても支援を行うことができるよう、検討を行う。	
							達成率	#VALUE!		達成率				
							進捗度			進捗度				
10	シニアリーダー講座	地域の方々に対して介護予防の普及・啓発ができるよう、取組の重要性や介護予防につながる生活習慣についての知識の習得を図ります。 また、介護予防の運動を普及できるよう、指導に必要な基礎知識を学ぶとともに、実技指導の体験などを通して自主グループをけん引できるリーダーを育成する講座を開設します。	地域包括ケア推進課	4章1-(5) P53	講座修了者数	人	240	219	事業所へ業務委託契約。週1回×3か月間（合計12回）を1コースとし、各区1会場×6区×年間2コース開催。講座修了者数219人	240	事業所へ業務委託契約。週1回×3か月間（合計12回）を1コースとし、各区1会場×6区×年間2コース開催。 また、講座修了後、シニアリーダーによる自主的な地域でのボランティア活動を支援していく。	240	ほぼ計画どおり実施している。講座の受講者数を増やすとともに、講座修了後のシニアリーダーの活動（体操教室の開催等）を支援することも重要である。そのため、シニアリーダーの活動についての市民への周知や、体操教室の会場確保に対する支援などに、引き続き取り組んでいく。	
							達成率	91.3%		達成率				
							進捗度	○		進捗度				
12	地域の介護予防活動の育成・支援	介護予防の体操などを行う住民主体の場を充実するために、介護予防に資する地域活動組織の育成及び支援を行います。 また、あんしんケアセンターなどにおいて、ボランティア等人材を育成するための支援を行います。	健康支援課	4章1-(5) P53	参加者延人数	人	3,600	4,596	既存の地区活動への支援とともに、地区資源の情報を整理しながら、介護予防に係る地域住民の活動支援を行なった。住民主体で取組む介護予防活動への支援7会場	3,600	住民主体で取組む介護予防活動への支援48会場	3,600	既存の地区活動への支援とともに、地区資源の情報を整理しながら、新たな地域住民グループに対する活動支援を行なうことができた。より多くの住民主体の介護予防活動を行なうグループを立ち上げるために、支援方法を検討していく。	
							達成率	127.7%		達成率				
			地域包括ケア推進課	4章1-(5) P53	設定不可			あんしんケアセンターにて、ボランティア育成講座の講師、サロン立ち上げの支援等を行った。参加人数14,825人。	あんしんケアセンター等が地域活動組織やボランティア等人材の育成及び支援を行う。		計画どおり実施しており、引き続き、生活支援コーディネーターとも連携し、地域活動組織の育成、支援のための講座の講師やサロン立ち上げの支援を行っていく。 地域住民の介護予防に対する意識の向上とあんしんケアセンターの活動が浸透したことで、平成27年度の参加人数は、前年比で2,285人増加している。			
25	介護予防・生活支援ニーズ把握	地域ケア会議・介護予防教室などで、アンケートなどを実施し、身体状況別の高齢者の状況や生活支援サービスなどの必要量の把握などを行います。	地域包括ケア推進課	4章1-(5) P54	設定不可				地域ケア会議、介護予防教室などで、高齢者の状況等についてアンケートを一部実施した。		基本チェックリストの紹介リーフレットを作成し、要介護認定非該当者をはじめ、地域の交流の場や介護予防教室等において配付するとともに、高齢者の生活状況や介護予防についての意見聴取を行う。		計画どおり実施しており、平成27、28年度は、あんしんケアセンターの介護予防普及啓発等の活動の中で、チェックリストを活用し、ニーズ把握を実施している。 平成29年度の総合事業への移行に向け、事業の対象となる高齢者を、効率よく適切にピックアップするための仕組みづくりが課題となっている。新しい総合事業の組み立てと共に検討していく。	
							達成率	#DIV/0!		達成率				
							進捗度			進捗度				

千葉県高齢者保健福祉推進計画（介護保険事業計画）における
 主な計画事業の取組および進捗・達成状況について
 【計画期間：平成27年度～29年度】

進捗度について
 ☆ 数値目標を達成・もしくは上回っている。（数値目標に対する達成率：100%以上）
 ○ 数値目標を概ね達成している。（数値目標に対する達成率：90%～100%未満）
 △ 数値目標を下回っている。（数値目標に対する達成率：50%～90%未満）
 ◆ 数値目標を大幅に下回っている。（数値目標に対する達成率：50%未満）

資料2・別紙

NO	事業名	事業内容	担当課	6期計画 での位置 づけ	数値目標・単位		6期計画（27～29年度）									
							27年度			28年度		29年度				
							数値目標	実績	取組結果	数値目標	取組状況	数値目標				
26	生活支援コーディネーターの設置	地域に不足するサービスの創出、多様なサービスの担い手となる地域の人材の育成及び関係者間の情報共有などのコーディネート機能を担う「生活支援コーディネーター」を配置します。	地域包括ケア推進課	4章1-(5) P54	生活支援コーディネーター	人	6	6	生活支援等を業務とする団体を募集しプロポーザル方式により委託業者を選任。平成27年10月、6区に生活支援コーディネーターを配置し活動を開始した。	12	平成28年4月に各区2名体制へと増員を図った。	12	計画どおり実施している。地域における生活支援コーディネーターの役割は極めて重要であり、今後も引き続き、その活動を支援していく。また、次期計画で日常生活圏域毎に1人の生活支援コーディネーターを配置（第2層30人）できるよう、検討を進めていく。			
							達成率	100.0%								
							進捗度	☆								
27	生活支援サービス体制の整備	生活支援コーディネーターを配置するとともに、地域ケア会議の活用、協議体の設置など、地域における生活支援・介護予防サービスの提供体制の整備を推進します。	地域包括ケア推進課	4章1-(5) P54	協議体設置数	箇所	1	1	千葉市の支えあいづくりを考える会を愛称とし、10月に発足し、3回の会議を開催した。	1	平成29年度から各区に協議体を立ち上げるための、協議を進めていく。	7	計画どおり実施している。協議体については、生活支援コーディネーターの活動に対する助言や指導等を効果的に行うための開催手法等を検討していく必要がある。また、平成29年度から各区に協議体を設置できるよう、検討を進めていく。			
							達成率	100.0%								
							進捗度	☆								
28	高齢者見守りネットワーク構築の推進	町内自治会などが見守り活動を新たに実施するための、ガイドブックを作成するとともに、初期経費の一部を補助します。活動後も団体間の交流を図り情報を共有する機会を創出するとともに、事例集を作成するなど、地域における見守り活動を支援します。	高齢福祉課	4章1-(5) P54	補助金交付団体数	団体	12	7	地域見守り活動を新たに実施する団体の設立を促すために活動拠点の整備に必要な初期経費を助成した。地域見守り活動・助け合い活動研修会を実施し、地域見守り活動を実施中の団体から54人が参加した。	8	引き続き、活動拠点の整備に係る初期経費を助成し、地域見守り活動の促進を図っていく。地域見守り活動を始めようとする人向けのガイドブック・事例集の刊行を予定。	8	見守り活動を実施する団体を対象とした補助（助成）を、庁内の複数の課（区役所を含む。）のほか千葉市社会福祉協議会が実施していること、また、活動開始時のみの補助となっており継続的な支援につながっていないことから、補助のあり方について整理・検討する必要がある。研修会の実施方法や内容を改良していく必要がある。			
							達成率	58.3%								
							進捗度	△								
29	高齢者生活支援サービス基盤づくり	要支援の高齢者などが住み慣れた地域で安心して生活できるよう、掃除・買い物などの生活支援の充実を図るため、社会福祉協議会に補助します。	高齢福祉課	4章1-(5) P54	地区部会	地区	9	3	社会福祉協議会の地区部会が、日常的な生活課題等を地域全体で支えあえるような仕組みづくりを推進する場合には、その地区部会に対して助成した。	9	社会福祉協議会の地区部会が、日常的な生活課題等を地域全体で支えあえるような仕組みづくりを推進する場合には、その地区部会に対して助成。	18	平成27年度から平成29年度までの3年間に限り補助金の助成予定。今後、立ち上げ地区が増えるよう社会福祉協議会と検討を行う必要がある。			
							達成率	33.3%								
							進捗度	◆								
31	民間事業者等による見守り	民間事業者などの資源やネットワークを活用し、高齢者の見守りを行い、高齢者の孤独死・孤立死の防止に努めます。また、日常生活において何らかの異変が生じた場合、区へ連絡することで、区があんしんケアセンターなどと連携し必要に応じた高齢者の支援を行います。	高齢福祉課	4章1-(5) P55	設定不可（民間事業者から任意の申出を受けて実施するため）				H26年度に民間企業と締結した協定・覚書により、高齢者の見守り体制の強化を行っている。		引き続き、関係課と連携して見守り体制の強化を図っていく。		民間事業者と協力した見守り活動については地域福祉課も扱っており、庁内において棲み分けを整理したり、一本化することを検討する必要がある。			
							達成率	#DIV/0!								
							進捗度									
32	孤独死防止通報制度の運用	日常業務で地域を巡回しているライフライン事業者や宅配業者などの協力により、高齢者宅などの異変を発見した場合、区に通報してもらうことで、地域における孤独死の防止に努めます。	地域福祉課	4章1-(5) P55	協力事業者	事業者	19	32	平成27年度末現在、32事業者と協定を締結している。また協力事業者を集め、本制度に関する連絡会議を開催した（年度1回開催）。	33	事業者との新規協定締結を継続する。また協力事業者を集め、本制度に関する連絡会議を開催する（年度1回開催）。	34	引き続き、制度を実施するとともに、協力事業者の拡大を図る。			
							達成率	168.4%								
							進捗度	☆								

千葉県高齢者保健福祉推進計画（介護保険事業計画）における
 主な計画事業の取組および進捗・達成状況について
 【計画期間：平成27年度～29年度】

進捗度について

- ☆ 数値目標を達成・もしくは上回っている。（数値目標に対する達成率：100%以上）
- 数値目標を概ね達成している。（数値目標に対する達成率：90%～100%未満）
- △ 数値目標を下回っている。（数値目標に対する達成率：50%～90%未満）
- ◆ 数値目標を大幅に下回っている。（数値目標に対する達成率：50%未満）

資料2・別紙

(6) 高齢者の住まいの安定的な確保

NO	事業名	事業内容	担当課	6期計画 での位置 づけ	数値目標・単位		6期計画（27～29年度）						
							27年度			28年度		29年度	取組に対する評価
							数値目標	実績	取組結果	数値目標	取組状況	数値目標	
2	住宅改修費支援サービス	要援護高齢者のいる世帯に対し、居宅での日常生活が容易になるように浴室などを改修する場合には、改修に要する費用の一部を助成します。	高齢福祉課	4章1-(6) P57	助成件数	件	132	86	要援護高齢者のいる世帯に対し、居宅での日常生活が容易になるように浴室などを改修する場合には、改修に要する費用の一部を助成した。	159	要援護高齢者のいる世帯に対し、居宅での日常生活が容易になるように浴室などを改修する場合には、改修に要する費用の一部を助成する。	181	今後も事業を継続していく。平成28年度より、所得税額から市民税所得割額で費用負担額を決定するよう変更した。
							達成率	65.2%					
							進捗度	△					
3	サービス付き高齢者向け住宅の供給促進	サービス付き高齢者向け住宅の供給促進を図るとともに、適切な管理・運営が行われるよう立入り調査や定期報告を実施します。	高齢福祉課 住宅政策課	4章1-(6) P57	立入調査件数	件	12	10	サービス付き高齢者向け住宅に関する情報提供を行うとともに、立入調査及び定期報告を実施した。	12	引き続き情報提供並びに立入調査及び定期報告を実施する。	12	(高齢福祉課) 住宅と福祉の両方の分野に跨っていることから、本市及び事業者の双方にとって漏れがなく、かつ効率的な手続の進め方を引き続き検討する必要がある。事故報告について、事業者への周知方法を検討する必要がある。 (住宅政策課) サービス付き高齢者向け住宅の登録物件数は順調に増加している。引き続き、サービス付き高齢者向け住宅の供給促進を図るとともに、立入調査及び定期報告を実施していく。
							達成率	83.3%					
							進捗度	△					
4	UR都市機構等との連携	UR都市機構や民間都市開発事業者と連携し、高齢者世帯などに配慮したまちづくりの推進を図ります。	政策調整課	4章1-(6) P57	設定不可				幸町団地、花見川団地において、URと地域のアクションプラン策定に向け、UR・地域・市・区などで構成する連絡会議に参加した。		幸町団地、花見川団地、に加え、追加指定された千草台団地においても、URと地域のアクションプラン策定に向け、UR・地域・市・区などで構成する協議に参加する。		URでは、平成30年度までに全国で100団地を指定する予定である。今後、市内のほかの団地でも取り組みが開始される可能性がある。
							達成率	#DIV/0!					
							進捗度						

(7) 支え合いの体制づくりの促進

NO	事業名	事業内容	担当課	6期計画 での位置 づけ	数値目標・単位		6期計画（27～29年度）						
							27年度			28年度		29年度	取組に対する評価
							数値目標	実績	取組結果	数値目標	取組状況	数値目標	
2	高齢者生活支援サービス基盤づくり（再掲）	要支援の高齢者などが住み慣れた地域で安心して生活できるよう、掃除・買い物などの生活支援の充実を図るため、社会福祉協議会に補助します。	高齢福祉課	4章1-(7) P60	地区部会	地区	9	3	社会福祉協議会の地区部会が、日常的な生活課題等を地域全体で支えあえるような仕組みづくりを推進する場合には、その地区部会に対して助成。	9	社会福祉協議会の地区部会が、日常的な生活課題等を地域全体で支えあえるような仕組みづくりを推進する場合には、その地区部会に対して助成。	18	平成27年度から平成29年度までの3年間に限り補助金の助成予定。今後、立ち上げ地区が増えるよう社会福祉協議会と検討を行う必要がある。
							達成率	33.3%					
							進捗度	◆					
4	地域運営委員会の設置の促進	将来にわたり、住民同士の助けあい、支えあいによる地域運営が可能となる体制づくりを進めるため、概ね小・中学校区単位に、地域で活動する様々な団体で構成される地域運営委員会の設置を促進します。	市民自治推進課	4章1-(7) P60	地域運営委員会設立数	地区	12	9	平成26年度の設立地区が当初の予定より少ない2地区であったことから、当初の目標値に届いていない。	16	引き続き地域運営委員会の設立を促進する。	20	地域運営委員会の必要性に理解を示していただけなかったことや、仮に理解があったとしても、地域内の調整がつかない等の理由により、設立が困難となっていること等が原因で、目標値に対して遅れを取っている。
							達成率	75.0%					
							進捗度	△					
6	「支え合いのまち千葉推進計画（第3期千葉市地域福祉計画）」の推進	地域住民、市、千葉市社会福祉協議会の3者が連携・協働して、地域で支え合う仕組みづくりに取り組む「支え合いのまち千葉推進計画（第3期千葉市地域福祉計画）」を推進します。	地域福祉課	4章1-(7) P61	「社会福祉審議会地域福祉専門分科会」、「各区支え合いのまち推進協議会」開催回数	回	19	20	各区支え合いのまち推進協議会において、地域活動の事例紹介や意見交換、進捗だよりの発行等を行い、計画の推進に努めた。 【千葉市社会福祉審議会地域福祉専門分科会】開催回数 0回 【各区支え合いのまち推進協議会】開催回数 延べ20回（6区合計）	19	各区支え合いのまち推進協議会において、地域活動の事例紹介や意見交換、進捗だよりの発行等を行い、計画を推進する。 【千葉市社会福祉審議会地域福祉専門分科会】開催回数 3回 【各区支え合いのまち推進協議会】開催回数 延べ20回（6区合計）	19	引き続き、各区支え合いのまち推進協議会において事例紹介、意見交換、広報誌発行等を行う。
							達成率	105.3%					
							進捗度	☆					

千葉県高齢者保健福祉推進計画（介護保険事業計画）における
 主な計画事業の取組および進捗・達成状況について
 【計画期間：平成27年度～29年度】

進捗度について
 ☆ 数値目標を達成・もしくは上回っている。(数値目標に対する達成率:100%以上)
 ○ 数値目標を概ね達成している。(数値目標に対する達成率:90%～100%未満)
 △ 数値目標を下回っている。(数値目標に対する達成率:50%～90%未満)
 ◆ 数値目標を大幅に下回っている。(数値目標に対する達成率:50%未満)

資料2・別紙

(8) 安全・安心なまちづくりの推進

NO	事業名	事業内容	担当課	6期計画 での位置 づけ	数値目標・単位		6期計画(27～29年度)						
							27年度			28年度		29年度	取組に対する評価
							数値目標	実績	取組結果	数値目標	取組状況	数値目標	
3	避難行動要支援者の支援体制の強化	災害時における安否確認や迅速な避難支援などに活用する名簿を作成し、町内自治会などと協力して避難行動要支援者を支援する体制を構築します。	危機管理課 防災対策課	4章1-(8) P62	避難行動要支援者名簿提供団体数	団体	100	64	・避難行動要支援者名簿の未提供団体へ書面等により啓発を行った。 ・避難行動要支援者名簿提供団体数は、平成28年3月31日時点176団体	100	引き続き避難行動要支援者名簿未提供団体へ啓発を行い、提供団体の増加を目指す。	100	町内自治会や自主防災組織、マンション管理組合等の地域団体へ、避難行動要支援者名簿提供に係る説明会や書面配布による啓発活動を継続する。また、既に名簿を提供し、避難行動要支援者の支援体制を構築している団体の先行事例の収集・周知を行い、住民の意識向上を図る。
							達成率	64.0%					
							進捗度	△					
			高齢福祉課	4章1-(8) P62	設定不可			年4回の名簿作成および、更新に合わせて新規対象者への同意確認を実施した。		年4回の名簿作成および、更新に合わせて新規対象者への同意確認を実施する。		引き続き、要支援高齢者の把握と情報共有に努めるとともに、関係課と協力し、提供団体数を増やすために取り組んでいく。	
						達成率	#DIV/0!						
						進捗度							
4	避難行動要支援者情報の消防局での活用	避難行動要支援者名簿システムで把握した要支援者情報を消防共同指令センターの指令管制システムに活用することで、火災や風水害などの発生時に災害地点から一定範囲内の要援護者の安全確保に努めます。	消防局 指令課	4章1-(8) P62	設定不可			避難行動要支援者名簿情報を定期的に指令管制システムに取り込み、災害活動時の支援情報として有効活用できた。		避難行動要支援者名簿情報を定期的に指令管制システムに取り込み、災害活動時の支援情報として有効活用している。		避難行動要支援者名簿情報を定期的に指令管制システムに取り込み、災害活動時の支援情報として有効活用できているため、継続してシステムに支援者情報を更新していく。	
						達成率	#DIV/0!						
						進捗度							
			消費生活センター	4章1-(8) P63	設定不可			町内自治会、いきいきプラザ及びいきいきセンター等において104回実施(5,488人が受講)		申町内自治会、いきいきプラザ及びいきいきセンター等の申込みに基づき実施予定			講座の実施回数は順調に増加しているため、さらなる周知に努める。
						達成率	#DIV/0!						
						進捗度							
10	千葉県高齢者等悪質商法被害防止ネットワーク会議	関係機関及び団体と連携し、悪質商法による高齢者などの消費者被害の防止を図ります。	消費生活センター	4章1-(8) P63	設定不可			・高齢者等悪質商法被害防止ネットワーク会議を開催(1回) ・消費者被害注意報をネットワーク会議の構成員や民生委員等に配信(年6回) ・ネットワーク会議の構成員が関係するイベントにおいて消費生活センターの機能周知を図った。		・高齢者等悪質商法被害防止ネットワーク会議を開催予定(1回) ・消費者被害注意報をネットワーク会議の構成員や民生委員等に配信予定(年6回) ・ネットワーク会議の構成員が関係するイベントにおいて消費生活センターの機能周知を図る。		関係機関との連携を密にし、円滑な事業実施に努めるとともに、消費者被害注意報の配信を継続する。	
						達成率	#DIV/0!						
						進捗度							

千葉県高齢者保健福祉推進計画（介護保険事業計画）における
 主な計画事業の取組および進捗・達成状況について
 【計画期間：平成27年度～29年度】

進捗度について

- ☆ 数値目標を達成・もしくは上回っている。（数値目標に対する達成率：100%以上）
- 数値目標を概ね達成している。（数値目標に対する達成率：90%～100%未満）
- △ 数値目標を下回っている。（数値目標に対する達成率：50%～90%未満）
- ◆ 数値目標を大幅に下回っている。（数値目標に対する達成率：50%未満）

資料2・別紙

2 生きがいくりと社会参加の促進

(1) 社会参加活動の充実

NO	事業名	事業内容	担当課	6期計画 での位置 づけ	数値目標・単位		6期計画（27～29年度）					取組に対する評価	
							27年度			28年度			29年度
							数値目標	実績	取組結果	数値目標	取組状況		数値目標
1	いきいきプラザ・いきいきセンターの運営	高齢者が健康で生きがいのある生活が送れるように、健康などの相談に応じたり、健康増進やレクリエーション活動を行うことができる施設で、機能回復訓練、高齢者福祉講座、世代間交流などを行います。	高齢施設課	4章2-(1) P66	延べ利用者数	人	624,785	638,391	前年度と比較し、プラザ・センターともに利用者数が増加した。	631,658	利用者の少ない土日にイベントや講座を開催するなど、利用促進を図る。	637,975	講座や講演会の充実が図られ、利用者数の増加に繋がった。引き続き、工夫を行い利用者数の増大を図る。
							達成率	102.2%					
							進捗度	☆					
2	いきいき活動外出支援	高齢者団体が実施する研修、視察、ボランティア活動などの外出に対し、借上バスの費用の一部を補助することで高齢者の社会参加を促進します。	高齢施設課	4章2-(1) P66	利用者数	人	8,783	7,456	昨年度と比較して利用団体数、利用人数ともに増加し、高齢者の社会参加を促進した。 利用団体数 231団体	9,742	補助上限を1団体あたり2回までとし、引き続き高齢者の社会参加促進を行う。 利用団体予定数 269団体	10,807	市政だよりへの掲載や、団体間の周知により利用団体数が増加している。 引き続き市政だより・HPでの周知や窓口での丁寧な説明を行い、補助金を利用しやすい環境づくりに努め、利用促進を図る。
							達成率	84.9%					
							進捗度	△					
3	ことぶき大学の運営	高齢者が知識や技術を習得し、仲間づくりや社会活動への参加を通じて豊かで充実した生活が送れるよう学習と活動の場を提供します。 また、地域の現状と課題に対する実践的学習や活動体験を通し、卒業後の地域活動への参加を目指します。	高齢福祉課	4章2-(1) P66	学生数	人	210	185	学生から高い評価を得ているとともに、地域活動・ボランティアに対する参加意欲が高まったとするアンケート結果が出るなど効果が現れている。 その反面、美術、陶芸学科は定員割れとなっている。	210	ハーモニープラザのあり方について、検討しているが、H29年度までは現状維持で事業を続けていく。	210	授業内容についてはアンケート結果において在学生・卒業生から高い評価を得ているものの、定員に空きがあることから、大学校についての周知方法、講義を実施する場所、カリキュラム等を検討していく必要がある。
							達成率	88.1%					
							進捗度	△					
4	スポーツ・レクリエーションの振興	高齢者がスポーツ・レクリエーション活動への参加を通じて、仲間づくりや健康づくりに取り組めるよう、高齢者スポーツ広場の整備などにより活動の場の確保を図ります。 また、安全でより良いスポーツ環境を提供するため、スポーツ施設の管理運営及び維持補修などを行います。	高齢施設課	4章2-(1) P66	利用人数	人	19,554	21,564	平成26年度に新規開設した広場の利用者が大幅に増加し、全体の利用者増に繋がった。	19,769	利用状況等を検証し、必要な見直しを検討していく。	19,958	高齢者のスポーツ・レクリエーション活動の場として引き続き高齢者スポーツ広場を確保する。また、利用状況を検証し、必要な見直しを検討していく。
							達成率	110.3%					
							進捗度	☆					
			スポーツ振興課	4章2-(1) P66	設定不可			・スポーツ施設の管理運営 12施設 ・スポーツ広場の管理運営 2施設 ・運動広場の管理運営 19施設		・スポーツ施設の管理運営 12施設 ・スポーツ広場の管理運営 2施設 ・運動広場の管理運営 19施設		①良好な管理運営を行った。 ②市民に安全でより良いスポーツ環境を提供するため、北谷津温水プール、古市場体育館の維持補修を行った。	
							達成率	#DIV/0!					
							進捗度						
5	千葉市民活動支援センター	ボランティア活動やNPO活動に関する情報提供や活動場所の提供、活動に関する相談などを行います。	市民自治推進課	4章2-(1) P67	登録団体数	団体	650	710	指定管理者のノウハウを活かしたサービスの提供、効率的な施設運営、効果的なPR等により、施設利用者数及び利用団体数が増加した。	660	引き続き指定管理者によるノウハウを活かしたサービスの提供や効果的なPR等により利用者数は増加傾向にある。 また、今年度は指定管理者の選定を行うため、公募に向けた準備を進めている。	670	平成29年度より指定管理者制度第二期となる。
							達成率	109.2%					
							進捗度	☆					
6	ボランティアデータベースの運用	ボランティア活動の活性化を図るため、市、千葉県国際交流協会、千葉市ボランティアセンター及びちば生涯学習ボランティアセンターが保有するボランティア関連情報を集約し、情報提供します。	市民自治推進課	4章2-(1) P67	アクセス数	件	19,000	33,012	市政だより等での広報により、周知が進んだ結果、アクセス数が増加した。	19,500	引き続き4施設と協力し、適切な管理・運営を行っている。 さらなる機能改善へ向けての検討を行っている。	20,000	ボランティア関連情報を保有する4施設からの意見を反映した機能改善を検討している。（平成29年度以降）
							達成率	173.7%					
							進捗度	☆					

千葉県高齢者保健福祉推進計画（介護保険事業計画）における
 主な計画事業の取組および進捗・達成状況について
 【計画期間：平成27年度～29年度】

進捗度について

- ☆ 数値目標を達成・もしくは上回っている。（数値目標に対する達成率：100%以上）
- 数値目標を概ね達成している。（数値目標に対する達成率：90%～100%未満）
- △ 数値目標を下回っている。（数値目標に対する達成率：50%～90%未満）
- ◆ 数値目標を大幅に下回っている。（数値目標に対する達成率：50%未満）

資料2・別紙

NO	事業名	事業内容	担当課	6期計画 での位置 づけ	数値目標・単位		6期計画（27～29年度）								
							27年度			28年度			29年度		
							数値目標	実績	取組結果	数値目標	取組状況	数値目標	取組に対する評価		
7	ボランティア活動の促進	市民のボランティア活動への積極的な参加を促すため、ボランティアセンターで情報提供や講座の開催を行い、ボランティアの育成を図ります。 また、ボランティア活動の活動施設や書籍などの貸出しを行い、ボランティア活動を行う人を支援します。	地域福祉課	4章2-(1) P67	ボラン ティア登 録者数	人	9,950	9,338	市民が興味を抱くボランティア講座を開催し、多種多様なボランティアを育成した。 ボランティアをする側・受ける側双方のニーズを把握し、情報の収集、発信に努めた。 活動施設の稼働率向上のため、利用団体等にアンケート調査を実施して、改善点を把握し、稼働率向上に努めた。	10,507	市民が興味を抱くボランティア講座を開催し、多種多様なボランティアを育成していく。 ボランティアをする側・受ける側双方のニーズを把握し、情報の収集、発信に努める。 活動施設の稼働率向上のため、利用団体等にアンケート調査を実施して、改善点を把握し、稼働率向上に努める。	未定	引き続き、千葉市社会福祉協議会に対し、補助金を交付するとともに、ボランティアの育成、コーディネート等に必要な支援を実施する。		
							達成率	93.8%							
							進捗度	○							
8	高齢者学級・講座の充実	いきいきプラザ・いきいきセンターでは、絵画、陶芸、音楽、体操などの幅広い内容の講座を開催し、福祉講座の充実を図ります。 公民館や生涯学習センターでは、学習需要や社会の変化に対応して、高齢者を対象に仲間づくりや社会参加活動の促進につながる各種事業を実施します。	高齢施設課	4章2-(1) P67	参加人数	人	46,517	46,645	前年度と比較し、参加人数は増加し、概ね計画を達成した。	47,029	高齢者のニーズに合った、講座内容の検討や、抽選方法の変更を行うなど利用者増に努めている。	47,499	参加人数は計画を達成しており、引き続き参加者からのアンケートや人数などを検証し、必要な見直しについて検討する。		
							達成率	100.3%							
							進捗度	☆							
		生涯学習振興課	4章2-(1) P67	参加人数	人	5,671	5,666	【公民館】 開催数 6講座	5,733	【公民館】 開催数 6講座	5,790	地域人材の高齢化や保護者への負担が大きく、実施日数が伸び悩んでいる傾向にある。 参加児童も減少傾向にあり、運営手法やプログラムの提供などについて今後検証が必要である。			
						達成率	99.9%	【放課後子ども教室】 地域の方々の参画を得て、学習指導や多世代間の交流など市内全小学校112校で実施した。 延協力員数 21,286人	【放課後子ども教室】 市内全小学校112校で実施する。						
						進捗度	○								
9	世代間交流の促進	いきいきプラザ・いきいきセンターでは、高齢者の生きがいがづくりと介護予防の一環として、近隣の小学校や保育園などと連携して陶芸教室や書初め教室などを開催するなど、高齢者と子どもたちとの世代間の交流を図ります。 保育所において、在所児の祖父母、地域の高齢者を招いて伝承行事などを楽しんだり、子どもたちが高齢者福祉施設などを訪問するなど、世代間の交流を図ります。 小学生を対象として、放課後や週末などに小学校の施設などを利用して、地域の方々の参画を得て、子どもたちに学習やスポーツ・文化芸術活動、地域住民との交流活動などを提供することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを進めます。	高齢施設課	4章2-(1) P67	参加人数	人	5,671	5,722	前年度と比較し、参加人数は大幅に増加し、概ね計画を達成した。	5,733	高齢者のニーズや施設の立地を生かした内容を実施し、利用者増に努めている。	5,790	概ね計画を達成している。実施状況や参加者からのアンケートなどを検証し、必要な見直しについて検討する。		
							達成率	100.9%							
							進捗度	☆							
		幼保運営課 (保育運営課)	4章2-(1) P67	施設数	カ所	173	173	事業として実施施設には翌月15日までに報告書の提出を求めた。	192	引き続き、施設の出来る範囲で世代間交流を実施していく。	設定不可	認可保育施設の増加に伴い、世代間交流の実施施設の増加はしている。園庭のない施設も増えているため、施設の出来る範囲で世代間交流を実施していく。核家族化が進み、高齢者と交流する機会が減っている事や地域の高齢者へ保育所(園)の理解の為に世代間交流の実施を薦めていく。			
						達成率	100.0%								
						進捗度	☆								
生涯学習振興課	4章2-(1) P67	設定不可		2,118	#DIV/0!	【公民館】 開催数 64講座 高齢者の仲間づくりや社会参加活動の推進等、生きがいがづくりに繋がる事業を実施した。 生涯学習センターの高齢者向け講座 講座の実施数：3講座 講座の延受講者数：351人	3講座	【公民館】 開催予定 63講座 高齢者の仲間づくりや社会参加活動の推進等、生きがいがづくりに繋がる事業を実施する。 生涯学習センターの高齢者向け講座 講座の実施予定数：3講座		平成27年度については、生涯学習センター・公民館とも、事業計画どおりに実施している。					
				達成率											
				進捗度	☆										
11	老人クラブ育成	地域に住む高齢者が集まり、レクリエーションや社会奉仕活動を通じながら健康増進や生きがいがづくりを目指す自主的な組織を育成します。	高齢福祉課	4章2-(1) P68	単位老人 クラブの 会員数	人	15,090	14,793	老人クラブの生きがいがづくりや健康づくりに係る各種活動、社会奉仕活動を促進した。 老人クラブ活動のリーダーを育成するための指導者研修会を平成28年2月に実施した。	15,500	引き続き、老人クラブの各種活動、社会奉仕活動を促進するとともに、リーダー育成のための指導者研修会を実施する。	16,200	高齢者の数が増加している中で、老人クラブの会員数が減少していること、また、介護保険制度の改正等を背景に地域における高齢者への支援の見直しが必要とされていることから、老人クラブへの補助・支援のあり方を検討していく必要がある。		
							達成率	98.0%							
							進捗度	○							

千葉県高齢者保健福祉推進計画（介護保険事業計画）における
 主な計画事業の取組および進捗・達成状況について
 【計画期間：平成27年度～29年度】

進捗度について
 ☆ 数値目標を達成・もしくは上回っている。（数値目標に対する達成率：100%以上）
 ○ 数値目標を概ね達成している。（数値目標に対する達成率：90%～100%未満）
 △ 数値目標を下回っている。（数値目標に対する達成率：50%～90%未満）
 ◆ 数値目標を大幅に下回っている。（数値目標に対する達成率：50%未満）

資料2・別紙

(2) 高齢者の就労支援

NO	事業名	事業内容	担当課	6期計画 での位置 づけ	数値目標・単位		6期計画（27～29年度）							
							27年度			28年度			29年度	取組に対する評価
							数値目標	実績	取組結果	数値目標	取組状況	数値目標		
1	コミュニティビジネスの普及推進	コミュニティビジネスの普及・推進を図るため、市民向けのシンポジウムを開催します。 また、コミュニティビジネスによる創業を目指す者に対して、市コミュニティビジネス推進協議会のネットワークを活用した相談を受け付けます。	産業支援課	4章2-(2) P68	設定不可			市民向けシンポジウムを開催した。(212千円) コミュニティビジネスによる創業を目指す者に対して、市コミュニティビジネス推進協議会のネットワークを活用した相談を受け付けた。		コミュニティビジネスの普及・推進を図るため、市民向けのシンポジウムを開催します。 また、コミュニティビジネスによる創業を目指す者に対して、市コミュニティビジネス推進協議会のネットワークを活用した相談を受け付けます。		予定通り事業を実施できている。		
2	シルバー人材センターの充実	高齢者が豊かな経験と能力を発揮し、働くことにより、生きがいを高める機会を確保できるよう、シルバー人材センターの運営を支援します。 また、市内の企業に対して、シルバー人材センターの事業内容などのPRを積極的に行い、事業規模の拡大、契約件数・契約金額の増加を図るとともに、会員数の増加を目指すなど、組織の強化に努めます。 さらに、ワンコインサービスにより買い物支援など暮らしのお手伝いを行うなど、地域貢献活動に積極的に取り組みます。	高齢福祉課	4章2-(2) P68	会員数 人	3,000	2,813	リーフレット・チラシのポスティングや配布、広報誌等を活用したPR活動を推進し、受注の確保を図った。 各種講習会や研修会を実施したほか、モラル・マナーについての接遇研修を実施した。	2,970	引き続き、就業機会の拡大、会員の資質向上を図っていく。	3,120	会員登録者数が近年減少傾向であったが、イベントにおける広報活動や公共施設へのチラシの配布等、市民への周知と入会促進に努めたため、平成27年度は若干名増加した。 引き続き会員登録者数の増加に向けた取り組みを行っていく。		

3 尊厳ある暮らしの支援

(1) 高齢者虐待への対応

NO	事業名	事業内容	担当課	6期計画 での位置 づけ	数値目標・単位		6期計画（27～29年度）							
							27年度			28年度			29年度	取組に対する評価
							数値目標	実績	取組結果	数値目標	取組状況	数値目標		
2	高齢者虐待防止マニュアルの充実	高齢者虐待の実態を調査し、必要に応じて高齢者虐待防止マニュアルを改訂するとともに、関係機関などに配布し、高齢者虐待防止に対する周知を図ります。また、施設などについては、虐待防止に関する指導・監督を強化します。	高齢福祉課	4章3-(1) P70	設定不可			施設等職員による高齢者への虐待について、相談があった場合、必要に応じて調査を実施し、指導・監督を行った。		高齢者虐待の実態を調査し、必要に応じて高齢者虐待防止マニュアルを改訂する。 また、施設等職員による高齢者への虐待について、相談があった場合、必要に応じて調査を実施し、指導・監督を行う。		高齢者虐待の実態の把握を行い、今後も虐待防止に努める。		
			高齢福祉課	4章3-(1) P70	設定不可			施設職員による高齢者への虐待について、相談があった場合、必要に応じて調査を実施し、指導・監督を行った。		施設職員による高齢者への虐待について、相談があった場合、必要に応じて調査を実施し、指導・監督を行う。		高齢者虐待の実態の把握を行い、今後も虐待防止に努める。		
			介護保険課	4章3-(1) P70	実地指導数 事業所	160	168	105.0%	実地指導を通じて、高齢者虐待防止に係る研修の実施状況を確認した。 実施期間：H27.4～H28.3	163	引き続き実地指導を通じて、高齢者虐待防止に係る研修の実施状況を確認していく。	165	引き続き実地指導を通じて、高齢者虐待防止に係る研修の実施状況を確認していく。	
			地域福祉課	4章3-(1) P70	実地指導数 事業所	105	104	99.0%	介護保険施設等の実地指導時に高齢者虐待防止研修の状況を確認した。	121	介護保険施設等の実地指導時に高齢者虐待防止研修の状況を確認する。	未定	引き続き、社会福祉法人等へ指導監督を実施する。	
4	高齢者虐待予防・防止の普及啓発	高齢者虐待について、市民の知識や理解を深めるため、高齢者虐待防止パンフレットを作成・配布するなど、普及・啓発活動を行います。	高齢福祉課	4章3-(1) P70	設定不可			高齢者虐待防止パンフレットを作成・配布するなど、普及・啓発活動を行った。		高齢者虐待防止パンフレットを作成・配布するなど、普及・啓発活動を行う。		今後もパンフレットを作成・配布し普及活動を継続していく。		

千葉県高齢者保健福祉推進計画（介護保険事業計画）における
 主な計画事業の取組および進捗・達成状況について
 【計画期間：平成27年度～29年度】

進捗度について

- ☆ 数値目標を達成・もしくは上回っている。（数値目標に対する達成率：100%以上）
- 数値目標を概ね達成している。（数値目標に対する達成率：90%～100%未満）
- △ 数値目標を下回っている。（数値目標に対する達成率：50%～90%未満）
- ◆ 数値目標を大幅に下回っている。（数値目標に対する達成率：50%未満）

資料2・別紙

NO	事業名	事業内容	担当課	6期計画 での位置 づけ	数値目標・単位		6期計画（27～29年度）							
							27年度			28年度			29年度	取組に対する評価
							数値目標	実績	取組結果	数値目標	取組状況	数値目標		
5	高齢者権利擁護・身体拘束廃止研修	高齢者権利擁護・身体拘束廃止にかかる 新任職員研修及び専門実践研修を実施することにより、身体拘束を行わない質の高い介護の提供を目指します。	高齢福祉課	4章3-(1) P70	研修参加 人数	人	新任 80 専門 105 達成率 進捗度	新任 85 専門 46 新任100% 専門43% △	高齢者福祉施設等の職員が身体拘束を行わない質の高い介護を提供できるよう、新任職員研修及び専門実践研修を実施。	新任 120 専門 35 達成率 進捗度	高齢者福祉施設等の職員が身体拘束を行わない質の高い介護を提供できるよう、新任職員研修及び専門実践研修を実施予定。	新任 120 専門 35 達成率 進捗度	今後事業を継続していく。	

(2) 成年後見制度への対応

NO	事業名	事業内容	担当課	6期計画 での位置 づけ	数値目標・単位		6期計画（27～29年度）							
							27年度			28年度			29年度	取組に対する評価
							数値目標	実績	取組結果	数値目標	取組状況	数値目標		
1	成年後見制度利用支援	判断能力が不十分な高齢者などを保護するため、成年後見制度の利用を支援します。 なお、成年後見人への報酬助成範囲を、一部拡充します。	高齢福祉課	4章3-(2) P71	申立件数 及び報酬 助成件数	件	申立 28 報酬助成 23 達成率 進捗度	申立 18 報酬助成 21 申立64% 報酬助成 91% △	判断能力が不十分な高齢者などを保護するため、成年後見制度利用支援を行った。また、市長申立を後見人および親族申立て費用を助成した後見人に対し報酬助成を行った。	申立 35 報酬助成 27 達成率 進捗度	判断能力が不十分な高齢者などを保護するため、成年後見制度利用支援を行った。また、市長申立を後見人および親族申立て費用を助成した後見人に対し報酬助成を行う。	申立 43 報酬助成 31 達成率 進捗度	今後高齢化率は進み、成年後見を必要とする対象者が増加することも予測されるため、事業を継続していく。	

千葉県高齢者保健福祉推進計画（介護保険事業計画）における
 主な計画事業の取組および進捗・達成状況について
 【計画期間：平成27年度～29年度】

進捗度について

- ☆ 数値目標を達成・もしくは上回っている。(数値目標に対する達成率:100%以上)
- 数値目標を概ね達成している。(数値目標に対する達成率:90%～100%未満)
- △ 数値目標を下回っている。(数値目標に対する達成率:50%～90%未満)
- ◆ 数値目標を大幅に下回っている。(数値目標に対する達成率:50%未満)

資料2・別紙

4 介護基盤の整備

(1) 介護保険施設等の適正な整備

適正な整備に必要な情報提供に努めてまいります。

(2) 介護人材の確保・定着の促進

NO	事業名	事業内容	担当課	6期計画 での位置 づけ	数値目標・単位		6期計画（27～29年度）						
							27年度			28年度		29年度	取組に対する評価
							数値目標	実績	取組結果	数値目標	取組状況	数値目標	
1	介護職員初任者 研修受講者支援	介護職員初任者研修修了後、市内の介護施設などで一定期間就業した場合、受講に要した経費のうち半額（上限50,000円）を助成します。	介護保険課	4章4-(2) P80	助成人数	人	100	86	募集期間 H27.5.1～12.31 助成額計 3,415,290円	150	募集期間 H28.5.2～12.31 申請状況(H28.6.15) 22人(14人交付決定済)	200	H27年度から住所地要件の撤廃（市内事業所に勤務する市外在住者も助成対象とする）など条件を緩和し利用者の拡大を図った。養成校に対する在籍者への周知依頼のほか、指定居宅サービス事業者等連絡会議での説明等による事業所への周知も引き続き実施し、目標の達成に努めていく。
							達成率	86.0%					
							進捗度	△					
2	介護人材の確保 に向けた広報の 充実	介護に関わる仕事を身近に感じ、魅力ある仕事として認められるよう、ホームページなどを活用した広報活動を行います。	介護保険課	4章4-(2) P80	小中学生 向普及啓 発事業	回	1	1	小中学生向け介護啓発研修	1	実施校1校 (H28.1.12：小学生140名)	1	H27年度に北貝塚小学校の4年生を対象に、要介護者の疑似体験を実施した。H28年度以降も引き続き実施し、目標達成に努めていく。
							達成率	100.0%					
							進捗度	☆					
3	福祉人材確保・ 定着 千葉地域推進協 議会の開催	関係団体などで構成する協議会を設置し、労働環境などを含めた総合的な対策について検討を行い、各団体による取組みを支援します。	介護保険課	4章4-(2) P80	協議会開 催数	回	2	2	第1回 H27.8.25 第2回 H28.3.28 設置主体は千葉県である	2	H28年度以降も引き続き実施予定。	2	H27年度は2回開催し、地域における福祉人材確保・定着対策に係る情報交換と具体的な推進方策について検討・実施した。H28年度以降も引き続き実施して、目標達成に努めていく。
							達成率	100.0%					
							進捗度	☆					

千葉県高齢者保健福祉推進計画（介護保険事業計画）における
 主な計画事業の取組および進捗・達成状況について
 【計画期間：平成27年度～29年度】

進捗度について

- ☆ 数値目標を達成・もしくは上回っている。(数値目標に対する達成率:100%以上)
- 数値目標を概ね達成している。(数値目標に対する達成率:90%～100%未満)
- △ 数値目標を下回っている。(数値目標に対する達成率:50%～90%未満)
- ◆ 数値目標を大幅に下回っている。(数値目標に対する達成率:50%未満)

資料2・別紙

5 介護保険サービスの提供

(1) 介護保険サービスの提供見込み

- ア 被保険者数、要介護認定者数及びサービス利用者数の見込み
- イ サービス種類ごとの利用者数及びサービス量の見込み
- ウ 保険給付費及び地域支援事業費の見込み

別途資料により説明

(2) 低所得者への配慮

NO	事業名	事業内容	担当課	6期計画での位置づけ	数値目標・単位		6期計画（27～29年度）						
							27年度			28年度		29年度	取組に対する評価
							数値目標	実績	取組結果	数値目標	取組状況	数値目標	
1	低所得者に対する本市独自の保険料減免	介護保険料の新第2段階・新第3段階については、収入や資産等、一定の基準を満たす方に対し、本市独自の保険料減免を継続します。	介護保険課	5章-(2) P89	設定不可		達成率	#DIV/0!	減免を要する被保険者に対して、過度な負担とならないよう適切な減免を行った。 減免決定件数：195件 減免額：2,667千円		27年度と同様に本市独自の低所得者減免を実施する。		今後も、介護保険料の第2段階・第3段階については、収入や資産等、一定の基準を満たす方に対し、本市独自の保険料減免を継続していく。
2	低所得者に対する利用者負担軽減	施設などにおける居住費・食費の補足給付や社会福祉法人など利用者負担軽減対策事業、災害などの特別な事情による減免など、利用者負担軽減対策を実施します。	介護保険課	5章-(2) P89	設定不可		達成率	#DIV/0!	①認定件数：4592件 ②認定件数：35件 ③認定件数：1件 ④認定件数：3件		H28年度も引き続き実施する。		今後も、施設などにおける居住費・食費の補足給付や社会福祉法人など利用者負担軽減対策事業、災害などの特別な事情による減免など、利用者負担軽減対策を実施します。

(3) 介護給付適正化の推進

NO	事業名	事業内容	担当課	6期計画での位置づけ	数値目標・単位		6期計画（27～29年度）						
							27年度			28年度		29年度	取組に対する評価
							数値目標	実績	取組結果	数値目標	取組状況	数値目標	
6	介護保険給付の適正化	給付の適正化を図るため、引き続き事業者実地指導、介護保険事業者集団指導、住宅改修にかかる施工前後の現地確認、介護給付費通知などを実施します。 また、居宅介護支援事業所に対しては、実地指導の際に、ケアプラン点検を実施します。	介護保険課	5章-(3) P90	実地指導数 事業所	160	168	①実施期間：H27.4～H28.3	163	①実施期間：H28.4～H29.3	165	今後も給付の適正化を図る必要があるため、引き続き計画に即して事業を実施するとともに、年々増加する事業所にも対応していく。	
					達成率	105.0%	②開催日：H28.3.15～3.16		②開催予定：H29.3				
					進捗度	☆							